くしろお試しワーキングホリデー （北海道釧路市）

基本情報

釧路市
CITY OF KUSHIRO

北海道釧路市は、人口およそ15万人、東北海道の太平洋側に位置する港町。
釧路湿原や、阿寒摩周国立公園もあり、タンチョウやマリモも生息する、自然豊かな町です。
夏の平均最高気温が約21℃と冷涼な気候で多くの長期滞在者が訪れます。

プログラム

北海道外在住の方を対象に、２週間、釧路市で働きながら生活し、市民との交流を通して、釧路の魅力に触れていただくことを目的としています。

実際に釧路で働いたり、生活することで釧路での生活のイメージを持っていただき、移住・定住のきっかけとなるようにサポートします。

成　果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した方が釧路市に興味を持ち、後に本事業以外でも訪れる方もいる。
しかし、実際に参加後に移住・定住に繋がった実績が少ないことや受入企業と参加者のマッチングに苦慮しており、課題もある事業となっている。

【参加実績（令和１～７年度末）】

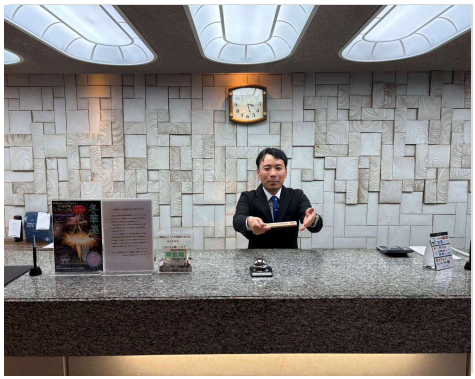
参加者：16名　　移住者：**1**名
うち令和７年度参加者：３名

就労内容・イベント内容

【業種】
農業(令和７年度参加なし)、広告業、宿泊業、サービス業、自動車業

【仕事内容】
牧場業務、ワインブドウ栽培業務、デザイン・ライティング業務、旅館業務、アイヌ文化業務、自動車整備

【ホリデー内容】
交流イベント実施(観光スポットやアクティビティ体験)



参加者の声

○　釧路は都市でもあるが、自然が近く職も充実。いこごちが良くて飽きない。（31歳・女性）

○　臭いに最初は戸惑ったけど、スーパーで牛乳が並ぶまでに多くの人の連携があるとわかり、感動した。（36歳・女性）

○　牛の角や尻尾を切る作業の補助、安楽死させる瞬間の見学、ワクチン注射の体験など、決して楽しいとは言えないリアルな部分を知ることができ、再び参加してよかったと思う。（21歳・男性）

○　東京では全く身近ではない酪農に少しでも携わることができただけで、非常に貴重な経験だったと感じている。釧路を始め北海道には何度も来たことはあったが、皆さんに案内していただき知らなかったスポットやグルメに出会うことができてとても充実していた。特にグルメに関しては何を食べても美味しく、さすが北海道！！といった感じであった。（21歳・男性）





羊のまち・しべつ　ふるさとワーホリ（北海道士別市）

基本情報



士別市は、北海道北部の中央に位置し、道立自然公園「天塩岳」をはじめとする山々や北海道第2の大河「天塩川」の源流域を有する水と緑豊かな田園都市です。

”羊のまち・しべつ”として、高品質なサフォーク種のめん羊（ジンギスカンでおなじみ）を生産しており、まちおこしのシンボルとなっています。

プログラム

「羊のまち・しべつ ふるさとワーキングホリデー」の基本コンセプトである、人との交流・地域との交流を柱に、①まちなかの賑わい部門、②農業の部門にて、地域の特色を活かしたプログラムで実施しています。

成　果

受入事業所側の地域との交流の創出など、就業面以外での工夫もあり、受け入れた方全員から地域との繋がりを持つ機会があったことへの高評価を得られた。参加者のなかには、「若年層に対する地方への関心を促し、地方の課題に向き合うことで、自らの存在価値を地方に見出す」など、士別市への移住を推進する今後の取り組みのモデルになり得る成功例も見られた。

■受入実績 R5:8人、R6:3人、R7:3人

就労内容・イベント内容

【業種及び仕事内容】

農　業：トマトの収穫・選別・出荷・管理作業、カボチャの収穫

宿泊業：ゲストハウス運営（宿泊部屋の掃除、予約の受付）、イベント運営補助、商店街等におけるコミュニティ活動

参加者の声

○農作業では、地元の方々や他県・海外から訪れている方々と協力しながら作業を行い、普段の生活では得られない多くの学びや発見がありました。

また、休日には地域のイベントや食文化に触れることで、士別市やその周辺地域の魅力を肌で感じることができたのも印象的でした。

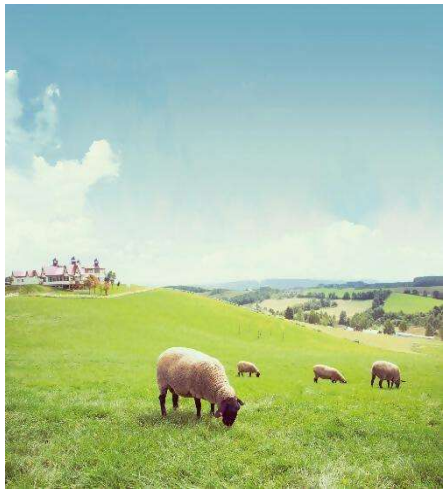
全体として非常に充実した、貴重な経験となりました。（20代・女性）

○ゲストハウス・民宿のお仕事だけでなく、出店をしたり、イベントに参加したり、色々なことに取り組んでおり、毎日刺激的でした。

全体的に仕事と遊びのバランスが良く、たくさん色々な場所に出かけることもでき大変満足できました。（20代・男性）

士別市





日本文化を伝えませんか？（東川町）

基本情報

東川町は、北海道のほぼ中央に位置する、人口約8700人の町です。東部は山岳地帯で大規模な森林地域を形成し、日本最大の自然公園「大雪山国立公園」の区域の一部になっています。
そんな東川町は、全国的にも珍しい、北海道でも唯一の、上水道の無い町です。
大雪山の大自然が蓄えた雪解け水が、長い年月をかけて地中深くにしみ込み、ゆっくりと東川町へ大切に運ばれてくるから。大自然の恵みを、東川町の住民がおすそ分けしてもらっているのです。

プログラム

東川町には、韓国、台湾、中国、タイ、ベトナム、モンゴル、インドネシア、マレーシア、ウズベキスタンの１０ヶ国より、延べ4,400名を超えるの留学生が日本語を学び、巣立っていきました。
現在も多くの留学生が、日々日本語を学んでいます。
日本語を学びに来る留学生の方々と交流するという貴重な経験ができます。
自ら文化の違いなどを肌で感じてみてください。

成　果

・ワーホリで参加した方が引き続き地域おこし協力隊として採用となり、町内で活躍している。
・現在町として道外を中心に様々なイベントに出展しており、それをきっかけに本事業参加し、深い関係性を生み出すきっかけとなっている。

【参加実績（令和３～７年度参加実績】

参加者：44名

就労内容・イベント内容

（業種）ティーチアシスタント
内容：日本語学校に通う留学生に対する日本語指導のアシスタント及び日本文化を共に学ぶ
（仕事内容）
日本語授業の教員補助、課外学習の補助でテキスト、例文の模範や会話指導の相手、自習室での質問対応、テストの準備など



参加者の声

〇ティーチアシスタントとして自分の英語力活かしながら、将来北欧で生活するため、まず北海道生活体験ができ、凄く良い経験になりました。
東川町内でも知り合いも増え、また来た際には新たなコミュニティに参加したりしながら生活したいと思いました。



〇以前東川町のイベントに参加したのちコロナ禍に入り、大学卒業の年に一度訪れたいと思い、ふるさとワーホリに参加させていただきました。
都会とは違い、ゆっくりした時間の中で生活できた経験は本当に貴重な時間になりました。



浦河町

基本情報

北海道浦河町は、四季折々の恵みをもたらす太平洋と雄大な日高山脈に抱かれており、海洋性気候の影響で、「涼しい夏」と「雪の少ない冬」という北海道の中でも住みよい自然環境に恵まれています。
また、馬と関わる歴史が古く、現在も約200の牧場に3,000頭以上のサラブレッドが駆け回る「馬のまち」です。

プログラム

〇メインターゲットの大学生の長期休暇に合わせ、8～9月、2～3月に実施している。
〇宿泊費と交流会等参加費については、町が負担している。
〇「馬のまち」浦河町ならではのサービスとして、乗馬体験をサービスとしている。その他に、町職員による町内案内や、地域の方との交流会を開催している。

成　果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者等が浦河町に興味を持ち、後に本事業以外でも訪ねる方もいる。
本事業が関係人口の拡大に寄与しているものであり、将来的な移住者の掘り起こしやファンづくりに寄与していると考えられる。

【参加実績（令和7年度）】
参加者：29名

就労内容・イベント内容

【業種】
飲食、旅館・ホテル、観光等
【仕事内容】
ホール、パン販売補助、接客、掃除、地元の高校と連携した地域づくりに関連したワークショップの開催、外国人の通訳サポートや交流イベントの参加等

参加者の声

〇浦河の地域は海も山もあり、景観も美しく豊かな生活を送ることができました。また必ず来たいと思います。
〇滞在中は多くの方々にお世話になりありがとうございました。乗馬や馬の世話を体験できて嬉しかったです。
〇地元に帰ってからも関わってくださった皆さんの顔が浮かぶくらい本当に楽しい時間を過ごせました。ホテルやレストランでの就業そのものが浦河を知る良い機会になったと思っています。
〇初めて浦河に来ましたが、密度の濃い2週間を通じて自分はめちゃめちゃ浦河ファンになりました！！







広尾町ふるさとワーキング・ホリデー（北海度広尾町）

基本情報



広尾町は十勝の最南端にある人口約6,000人のまちです。国立公園でもある雄大な日高山脈と漁業資源豊かな海に囲まれています。

水産加工や木材加工、カフェなどの仕事をしながら、休日は海、山、川と恵まれた自然を楽しめます。

プログラム

広尾町を代表するサンタランドや町内の水産加工、木材加工、カフェで勤務していただき、北海道ならではの仕事を体験していただきます。

休日には広尾町の産業を体験できるプログラムを用意しています。漁業は夏はコンブ漁体験を行ったり、秋にはシシャモ漁見学や秋サケの水揚げを見学することができます。農業は地域の農家さんに伺い、酪農作業を体験することができます。

その他、滞在中には地域の方々との交流の場を設けますので、通常の旅行では味わうことができない機会を用意しています。

成　果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者等が広尾町に興味を持ち、後に本事業以外でも訪れる方もいる。

本事業が関係人口の拡大に寄与しているものであり、参加する学生間の交流や地域の人との関りなどを通じ、体験が充実したものとなり、参加者と地域に相乗効果を生み出している。

【参加実績（５～７年度）】

参加者：１７名　　リピーター：**1**名（※）

（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に気仙沼市を訪れた延べ人数

うち令和７年度参加者：８名

就労内容・イベント内容

【業種】

水産加工、木材加工、観光施設、ナーセリー　カフェ、飼料工場など

【仕事内容】

水産加工業、漁箱の生産、アロマオイルの生産、観光施設やカフェでの接客、ガーデン整備など

【ホリデー内容】

観光案内、第一次産業体験、地域イベント参加など

参加者の声

○広尾町で過ごしてみて

私ははじめての北海道が広尾町でした。

そのため広尾町までの十勝の雄大な景色がとても新鮮でした。滞在先は海に面しており、海の景色や波の音に癒される毎日です。

そんな景色に癒されながら、サンタランドでのお仕事をさせていただきました。毎日点灯されるイルミネーションに癒されることはもちろん、お客さんのクリスマスへの願いや期待感を身近に感じ、素敵な場所だと思いました。

他にも広尾町は酪農や漁業などの一次産業が盛んです。魚さばき体験や酪農体験を通して生産者さんと出会い、どのようにして消費者に届くのか、見たり、お話を聞いたりできたことは貴重な経験となりました。地元に戻ってから、普段スーパーで何気なく手にしていた商品に生産者さんへのありがたみを感じるようになりました。

（20代女性）







大自然でのワーホリ～知床世界自然遺産地域の人とともに働く～　（北海道羅臼町）

基本情報



北海道羅臼町は、人口約4,200人。小さいながらも、世界自然遺産知床に代表される自然環境に囲まれた町です。
前浜は豊漁の海と言われるほど、一年を通して多くの魚種が水揚げされます。休日は、観光船に乗船し、クジラやシャチ、海鳥を見て楽しむことができます。

プログラム

①　地域と旅を繋げる「おてつたび」のプラットフォームを活用し、短期的・季節的に人手を必要としている「地域の事業者さん」と「羅臼町に訪れたい人たち」をマッチング。

②　日常では体験できない産業に触れ、休日はゆっくりと世界自然遺産羅臼町を探索。

③　人懐こい羅臼の人たち。事業所の人たちと仲良くなって、思い出を作ってください。

おてつたび

成　果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、なかなか行けない日本の最北東端へ訪れることが可能となります。参加した若者等が羅臼町に興味を持ち、観光や再度のおてつだいを希望される方も多いです。
本事業が関係人口の拡大に寄与しているものであり、参加する学生と地域の人との関りなどを通じ、体験が充実したものとなり、参加者と地域に相乗効果を生み出しています。
【参加実績】
令和５年度：18名　令和６年度：21名　令和７年度：10名

就労内容・イベント内容

【業種】
水産業、観光業、製造業など

【仕事内容】
・ホタテ稚貝の仕分け、水産物の加工、宿泊施設の清掃・食事配膳など
・多くの業種を体験ができるよう事業者を継続的に募集していますので、おてつたびサイトを確認ください。

参加者の声

○　レストランホールでの仕事が主でした。スタッフのみなさんがフレンドリーな方ばかりで、地元の方しか知らないようなお話を聞かせていただけたり、自然の中に連れて行っていただけたりと貴重な体験ができました。（22歳・男性）

○　とにかくスタッフの皆さんが温かく迎えてくださったこと。さらに賄いがとても美味しい！（22歳・女性）

○港で水揚げされた魚を洗い箱詰めし、運搬するしました。優しく気にかけてくださるので、とても居心地がよく過ごせました。ご飯も毎日美味しいご飯をいただけます！自然もものすごく豊です（26歳・男性）

○　未経験である漁業に携わりました。男性は無口で力持ち、女性は明るく元気。イメージどおりでしたが、みなてきぱきと作業をされており毎日圧倒していました。本当に良い社会勉強となりました（50歳・女性）







～田舎で働き、生きるを考える２週間～　（北海道弟子屈町）

基本情報



弟子屈町の人口およそ6,200人、北海道の東側、「道東」の中心。観光業や農業が基幹産業で、阿寒摩周国立公園の大自然が広がり、温泉地としても有名です。大自然と共存するアクティビティや美味しい「食」が数多くあります。

プログラム

弟子屈町ふるさとワーキングホリデーの特徴

①地域や住民に深く関わり、協力しよう
参加者の皆さんにとって「第二のふるさと」になるように様々な活動に参加します。町のイベントに運営スタッフとして参加し、地域を盛り上げます。

②地域で働き、生きていこう
働くことで田舎での暮らしを体験します。
都会で暮らすことが正解かどうかを考えます。

③観光地を楽しもう
観光地の弟子屈町を満喫してください。
「弟子屈LOVE」になることが最も重要です。

成　果

一番の成果は地域との関係や交流から、第２のふるさととしての「弟子屈町」として感じてもらえるようになったことです。
事業終了後も、プライベートで観光目的の来町や受入施設への就職にも繋がっています。

【参加実績（令和６年８月～令和８年２月）】

参加者：21名　リピーター：6名（参加、観光、短期就業等）
うち令和７年度参加者：7名

就労内容・イベント内容

【業種】
・宿泊業（フロント、清掃）
・キャンプ場（案内、清掃）
・特産品製造（ビヒタ）

【内容】
仕事の内容は簡単なものばかりです。
初めての作業でも安心して参加することができます。

参加者の声

〇弟子屈はもともと好きだったが、地域に深く関わることでさらに好きになった。20代／女性
〇飛行機代を気にしていたが、補助金がもらえ、少ない出費で参加できた。20代／男性
〇イベントにスタッフとして参加、氷点下15度の中での作業は大変だったが、地域の人と協力して当日を迎えたとき感動した。子どもたちの笑顔がまぶしかった。20代／女性
〇移住を検討している中での参加。期間中、移住体験プログラムにも参加し、田舎での生活のイメージがついた。40代／男性
〇たくさんのご支援をいただき道東、主に弟子屈の魅力について知ることができた。 10代／男性











ワーキングホリデー黒石事業　～ワーホリ黒石！～（青森県黒石市）

基本情報

黒石市は、青森県のほぼ中央部に位置し、古くから「りんごと米と温泉の田園観光都市」として親しまれており、平野部では水稲、中山間部では果樹や高冷地野菜を主体とした農業が展開されています。また、交通アクセスが良いという強みを活かし、国内外からの観光客を積極的に呼び込んでいます。



プログラム

都市に暮らすみなさんが、一定の期間、黒石市に滞在し、就業体験（農業体験）を通じて、地域の人たちと交流や伝統文化を体験していただく事業です。豊かな自然や美しい景観に囲まれた「りんごと米と温泉のまち」をまるごと体験しながら、新しい農業の価値を発見してもらう。

成　果

ふるさとワーキングホリデー事業を活用し、参加した方々の中にはリピーターとして参加し続けている方もいる。

人手不足が懸念されている農業では、一定期間ではあるものの受入農家への加勢となっている。また、祭りやイベント等の体験交流による人との関りを通じ、体験が充実したものとなっており、参加者と地域に相乗効果を生み出している。

○参加実績（H29~R7）　**194名**
・令和7年度実績　32名

就労内容・イベント内容

【業種】
農業
【仕事内容】
・りんご　実すぐり～収穫まで
・野　菜　除草、収穫等
・水　稲　除草、稲刈り等
【イベント】

・黒石ねぷたまつり	7月30日～8月5日
・黒石よされ	8月15日～8月20日
・大川原の火流し	8月16日
・黒石こみせまつり	9月中旬
・中野もみじ山ライトアップ	10月下旬～11月上旬



参加者の声

農業体験でき、かつ黒石の魅力について知ることができる良い機会であり、黒石市に人を呼び込む良い事業だと思います。この事業を通じて、黒石ならではの行事（黒石よされ等）や観光施設を知ったため、観光目的として再び、訪れたいと感じました。（20代 女性）

自分が普段食べているものを育てる過程に携わることができたことや都会ではできない経験ができたため、やりがいを感じました。しかし、この作業を天候に関わらず毎日行うことを考えると非常に大変な作業であり、農家の方の努力を身に染みて感じました。農家の高齢化が問題視される中、実際の現場を目にしたことで、今後の農家への支援や対応について考える機会となりました。（20代 女性）

りんごの農作業は手作業で一つ一つ、丹念に行っているということを身をもって知ることができました。りんごをはじめ、スーパーで並ぶ果物を見る目が変わりました。また、作業に没入感を覚えます。天候が良ければ自然に囲まれた中での作業です。素晴らしい景色と草の匂いを感じながら都会での喧騒や仕事を忘れることができ、メンタルにも非常に良い影響があると思います。（50代 男性）





バイトしながらいわて旅 ～いわての観光業をフィールドに 働く×学ぶ×楽しむ ～（岩手県）

基本情報

本州一の面積を誇る岩手県は、
ニューヨーク・タイムズ紙「2023年に行くべき52カ所」
にも選ばれた盛岡市に県庁所在地を置き、日本百名山
岩手山を臨む緑や、三陸のリアス海岸など、豊かな
自然に恵まれています。



プログラム

いわての観光業をフィールドに働く×学ぶ×楽しむ
バイトしながらいわて旅は、岩手県内の
宿泊施設や観光施設で仕事（アルバイト）
しながら、地域の人たちとの交流や学びを
通して、岩手の観光を楽しんだり地域の
魅力を感じることができる岩手県独自の
就労体験・滞在プログラムです。



成　果

プログラム参加後に受入企業を再訪したり、岩手県内を旅行などで再訪する「リピーター」が増えてきており、岩手との関係人口、交流人口を創出するプログラムとなっています。
県外在住の岩手県出身者の参加もあり、地元・岩手の良さを再発見し「岩手で働きたい」とUターン就職を考える契機にもなっています。また、参加をきっかけに岩手や、就労した仕事に魅力を感じてIターン就職した実績もあり、移住・定住促進にもつながっています。

【参加実績（令和7年度）】
［受入企業数］11社
　…旅館・ホテル業4社、観光・レジャー業7社
［参 加 者 数］25名
　…学生：24名　一般：　1名
　…男性：　7名　女性：18名

就労内容・イベント内容

【業種】
旅館・ホテル業、観光・レジャー業など

【就労内容】
［仲居業務を中心とした接客・サービス］
　…フロント、食事会場準備、客室清掃など
［観光拠点となるレジャー施設などでの接客］
　…洞窟案内、飲食店や物販の販売など

【イベント内容】
●集合型のアクティビティツアーやまち歩き
●岩手県職員との座談会

参加者の声

●将来岩手で働きたいと思っている私にとって、地元企業で働くみなさんの姿、将来岩手に戻りたいという気持ちが強まりました。受入先では海外の方と一緒に仕事をすることが多く、海外の方と関わるのが大好きな私にとっては貴重な経験でした。（21歳・女性）

●初日は、噛んでばかりのぎこちない接客でしたが、受入先の方々のアドバイスや、優しく接してくださるお客様のおかげで、少しずつですが、自信を持てるようになりました。また、外国の方が訪れる機会もあり、言葉が通じない場合もありましたが、笑顔やジェスチャー、心からのおもてなしの気持ちは、しっかりと伝わるということを肌で感じることができました。（21歳・男性）

●ただアルバイトをするだけでなく、働いている方や地域の方とお話しする機会をいただけたことが、自分が将来やりたいことを考える上で大切な経験になりました。皆さんの、地域に貢献しようという思いに感銘を受け、私もそのような仕事をしたいと思いました。（20歳・女性）









いちのせきふるさとワーキングホリデー～まずは、一関市を知ってもらおう～（岩手県一関市）

基本情報



一関市は東北地方の中央に位置し、仙台と盛岡の中間地点にあり、岩手県南・宮城県北の『中東北の拠点都市』として、経済・文化・教育の中心となっています。
市内には3県にまたがる栗駒山（1,626m）、猊鼻渓や厳美渓の名勝地、一関温泉郷などの観光地があり、世界遺産登録のまち「平泉」や三陸方面への観光拠点ともなっています。

プログラム

●大自然を満喫しながら楽しく過ごす　いちのせき
・休憩2時間！道の駅むろねから車で10分のピーマン畑で収穫&選別&管理作業
・家族経営の地元農家さんと室根町でトマト栽培！
・須川の自然を味わい尽くす！みちのくの秘湯・須川高原温泉で３食付住み込み湯治ワーホリ・
・秘境で住み込み1Wのピーマンワーク
・楽天ショップでも大人気！若手農業経営者　サツマイモの苗の収穫と選別
・驚き甘さヘビー級！生でも食べれるトウモロコシ「菜の花こーん」収穫

成　果

●移住を考える若者が、「移住先候補の一つとなった」との声
●当市新規就農支援施策をPRするコンテンツを市ワーホリ専用ホームページに公開しており、閲覧者が増えていること
●市内観光地周辺だけではなく農村地帯の隅々まで知ってもらえたこと

就労内容・イベント内容

【業種】農業中心
【仕事内容】
・りんどう栽培のお手伝い
・早朝トウモロコシ収穫作業
・ピーマン収穫調整作業
・りんご摘果・収穫に向けた作業・出荷調整
・トマト栽培のお手伝い
・温泉宿住み込み給仕
【イベント】
・地元農家との交流会
・地域探求・案内・食体験
・ドライブ企画

参加者の声

●農業の興味があり参加してみた。食への関心が高まった。目標が明確化した。いい機会をいただいた。（大学生・男性）
●東北が好き、農業に興味がある、つらいけどいい仕事、将来の移住候補の一つとなった！（社会人・女性）











人と出会い、自分と向き合う。ワーホリ（宮城県気仙沼市）

基本情報



宮城県気仙沼市は、人口およそ6万人、宮城県最北端の港町。
世界三大漁場の三陸沖に面しており、海から世界につながっているグローバルなまちでもあります。
季節ごとの海の幸、さらには山の幸まで豊かな食を楽しむことができます。

プログラム

「人と出会い、自分と向き合う。」ワーホリは、
気仙沼というまちを、見て、聞いて、体験して、知ること。
地元の企業で、地元の人と一緒に働いてみること。

みんなで食卓を囲んで、今日あったことを話しながらご飯を食べること。海辺を散歩したり、星を見たり、キャンドルを灯したりすること。普段は話さない悩みを打ち明けてみたり、考えや思いを語り合うこと。

色々な人と出会い、色々な自分と向き合うこと。
そんな、非日常な日常を過ごす、11泊12日。
気仙沼は、きっとあなたの「心の居場所」になる。

成　果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者等が気仙沼に興味を持ち、後に本事業以外でも訪れる方もいる。

本事業が関係人口の拡大に寄与しているものであり、参加する学生間の交流や地域の人との関りなどを通じ、体験が充実したものとなり、参加者と地域に相乗効果を生み出している。

【参加実績（2021～2026年3月末）】

参加者：496名　リピーター：**284**名（※）　移住者：**31**名

（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に気仙沼市を訪れた延べ人数

就労内容・イベント内容

【業種】
農業、水産業、飲食業、教育事業、宿泊業、観光業、ブライダル業、託児・子育て支援業

【仕事内容】
野菜収穫、浜作業、コミュニティカフェ、イベント企画、プログラミング教室、旅館業務、ホテル業務、ブライダル業、託児

【ホリデー内容】
観光案内、ものづくりWS、語り部WS、振り返りWS等

参加者の声

○　自分や皆の進路、人生についてなど、たくさんお話しして学びになることがたくさんあり、楽しい思い出もたくさんできて、本当に充実した毎日だった。また、震災についても、一部しか知らなかったので、現地を訪れることで、震災について実際に起こったことを知り、震災を経験し、それでも強く生きよう、この街を良くしよう、海とともに生きていこうという気仙沼の人々の姿勢を肌で感じることができた。（20歳・女性）

○　商店街の方と何時間も話したり、そこで仕事の手伝いをしたりしたこと（が思い出に残った）。顔を覚えてもらい通りかかっただけで話しかけてもらえるようになったのがうれしかった。気仙沼の一員になれそうな気がした。（21歳・女性）

○　わかめを同じ分量ずつパック詰めをする作業が一見すると簡単そうなものにみえるが、実は大変な作業だということがよくわかった。このようなことを普段から働いている方たちが一生懸命やっていることによって僕たちの生活が成り立ってるんだなと感じた。（20歳・男性）







滞在スケジュールイメージ

1週目	DAY1	DAY2	DAY3	DAY4	DAY5	DAY6	DAY7
AM			就労	就労	まちのイベントを満喫	就労	気になるカフェでのんびり
PM	チェックイン	観光案内	チームメンバーと海鮮ランチ				
夕	歓迎会			語り部WS	地域の方と交流		中間振り返りWS
2週目	DAY8	DAY9	DAY10	DAY11	DAY12		
AM	就労	就労		早起きして朝日を見に行く	チェックアウト（自由解散）		
PM		キャンドル作りツアー	バスでお出かけ 周町を観光				
夕	星空鑑賞			最終振り返りWS			

保育ワーキングホリデー（宮城県気仙沼市）

基本情報



宮城県気仙沼市は、人口およそ6万人、宮城県最北端の港町。
世界三大漁場の三陸沖に面しており、海から世界につながっているグローバルなまちでもあります。
季節ごとの海の幸、さらには山の幸まで豊かな食を楽しむことができます。

プログラム

保育ワーキングホリデー とは？
このプログラムは、子どもと過ごし、地域とつながる、
保育学生のためのリアルな保育体験プログラムです。
気仙沼で出会う、子どもたち・まち・仲間・そして“自分自身”。
保育の現場に立ち、地域で暮らすように過ごす1週間が、
これからのあなたの進路に、そっとヒントをくれるはず。
実習でも旅行でもない、“まるごと体験”のワーキングホリデーへ。
保育も暮らしも、ぜんぶ感じる1週間を、気仙沼で。

＜ワーキング＞保育施設を選びお仕事として働き、
＜ホリデー＞保育や子育てについて新たな学びの経験や、
気仙沼観光などを自由に楽しむことができる、
２０２３年にスタートした気仙沼独自の体験プログラムです。

成　果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者等が気仙沼に興味を持ち、後に本事業以外でも訪れる方もいる。

本事業が関係人口の拡大に寄与しているものであり、参加する学生間の交流や地域の人との関りなどを通じ、体験が充実したものとなり、参加者と地域に相乗効果を生み出している。

【参加実績（2023～2026年3月末）】

参加者：32名

就労内容・イベント内容

【業種】
市内保育施設（認可保育施設、認定こども園、私立幼稚園、一時預かり施設）

【仕事内容】
保育

【ホリデー内容】
観光案内、振り返りWS等

参加者の声

○　就労先での自分に馴染みのない保育との出会いも、就労後の気仙沼観光や観光案内も、滞在先での長い語らいの夜も、とても楽しかったし学びの多い日々でした。この環境をささえてくださったみなさんに感謝します。気仙沼の街も人々もとてもあたたかく、雰囲気が好きになりました。またきます！（22歳、女性）

○　念願のワーホリ、念願の気仙沼でしたが、想像以上に豊かな時間を過ごすことができました。自分が普段、会社のビルの中でひたすらパソコンに向き合っているときに、こんな時間が流れている場所もあるのだなあと不思議な気持ちになりました。（31歳、女性）

○　本当に楽しかったです！！！！参加して良かったです！！！心の拠り所が増えたと感じました！このような場所がある事がすごいと感じました。また来ます！ありがとうございました！（21歳、女性）





Aさんのスケジュール例

DAY 1	気仙沼到着 歓迎会！
DAY 2	観光案内（スタッフが市内を案内）
DAY 3	お仕事 10:00~15:00
DAY 4	お仕事後 気仙沼観光（朝ドラの舞台、大島の海へ）
DAY 5	中間振り返りWS（移住した保育士さんとの対話）
DAY 6	みんなで鍋パーティ
DAY 7	地域のイベントに参加
DAY 8	チェックアウト

南会津の「人」とふれあい地域の「仕事」や「伝統」に触れる２週間（福島県南会津地域）

基本情報



福島県の南西部に位置する南会津地域は、「下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町」の４町村からなる山間の豪雪地帯で、大内宿や尾瀬に代表される国内有数の歴史や自然環境を有しています。

季節が魅せる新緑、清流、紅葉、雪景色と、四季折々の豊かな自然が広がります。

プログラム

このプログラムの特徴は、

① 地域に根差した企業での就労や地域で活躍する人との交流を通じて、南会津の仕事や暮らしに触れる。
② 大内宿雪まつりなど冬の南会津ならではの魅力を体験する。
③ 共同生活や地域との交流、魅力発信を通じて、人とのつながりを深める。

この3つの体験を通して、南会津への理解と愛着を深め、地域との継続的な関わりにつなげることを大切に企画している。

成　果

ふるさとワーキングホリデーを契機として、参加者が南会津地域に関心を持ち、事業終了後も受入企業と連絡を取り合うなど、継続的な関係が生まれている。

参加者同士や地域住民との交流を通じて体験プラグラムの充実が図られ、地域と参加者双方にとって相乗効果を生み出している。

なかには、将来的な移住が選択肢のひとつとなった参加者もおり、関係人口の創出に寄与している。

【参加実績（令和７年度）】

参加者数：１２名（男性：５名、女性：７名）

就労内容・イベント内容

【業種】
製造業、観光業、飲食業

【仕事内容】
酒造り業務、季節毎の魅力リサーチ及びコンテンツを活かしたモデルコース考案、SNS発信業務、乾麺の断裁や袋詰め等、宿泊業務、調理補助

【ホリデー内容】
観光案内、地域交流、ウィンタースポーツ体験

参加者の声

〇十分すぎるほど、毎日が楽しく新たな場所、行く先々での豊かな自然や、地域の方々との出会い、その土地の食べ物を楽しむことができた。
〇複数の地域、仕事にかかわることができ、都会で体験できないアクティビティを楽しめた！
〇お金を払ってもできないようなことを経験させてもらったし、日本酒・もろみ・むろの麹米のにおいが好きでもっと日本酒が好きになった。製法を通して日本酒の作り方の流れを身体を動かしながら学べた。
〇地域の魅力を仲間と共にまとめる中で南会津地域の課題と魅力を理解することができた。別の就労先では、今まで経験したことがなかったお酒の販売に挑戦する中で、大内宿の方々や観光客の方々とコミュニケーションをとることの楽しさとやりがいを実感できた。
○この地域を訪れたい理由ができた。それは、この地域で出会った人たちにまた会いたいと思えたから。







水戸 de ワーホリ～水戸で「働く」暮らし体験～（茨城県水戸市）

基本情報



水戸市は、東京から電車で約１時間、茨城県のほぼ中央に位置する県庁所在地です。

水戸市の魅力は、便利な暮らしと充実した余暇を両立させることができる、「都市と田舎のいいとこどり」をしたまちであること。

暮らしを支える都市インフラに加え、自然や歴史、芸術文化などの地域資源も充実し、理想のライフスタイルを実現できます。

プログラム

本プログラムの特徴は大きく２つ。

①就職直結型

若い力を求める地元企業で就業体験を実施します。

参加者と企業の希望がマッチングした場合、卒業後の就職につながることもあります。

②まちといなか「いいとこどり」の暮らしを体感

地元企業で働きながら、充実した余暇も過ごし、水戸のリアルな暮らしを体験することができます。

２週間の行程概要



成　果

参加者がプログラム終了後も本市へ来訪したり、就労先の担当者と継続的に連絡を取り合ったり、本市での就職を希望していたりと、関係人口の創出や、「若い世代の移住促進」に一定の効果をもたらしているものと考えている。

【参加者数】 令和６年度：６名　令和７年度：４名

就労内容・イベント内容

●就労先及び就労内容

《印刷会社》

広告提案資料作成、SNSマーケティングなど

《駅ビル運営会社》

広報、ショップ巡回、地域課題解決企画提案など

《農業》

収穫体験、施肥、農家視察など

《物流会社》

運行日報チェック、商品仕分け、SNS投稿など

《社会福祉法人》

子ども食堂補助、アートプロジェクト補助、介護体験、地域高齢者との交流など

●体験プログラム

水府提灯や笠間焼といった伝統工芸の製作体験のほか、偕楽園ライトアップイベント見学や周辺市町村観光等のアクティビティを実施した。

参加者の声

●就労体験だけでなく、参加者や関わった方々との時間の中でも多くのことを経験でき、とても充実した時間になった。（19歳・女性）

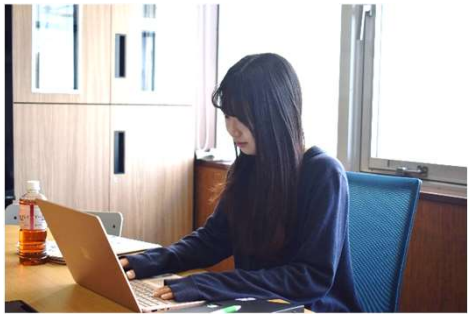
●就職活動を行う中で都内の企業に目を向けることが多かったが、ワーホリに参加したことで地方に根付いた企業の働き方や地域との関わり方についても知ることができ、仕事や働き方に対する視野が広がった。（20歳・女性）

●（自分が体験した就労先は）幅広い経験ができる環境だと感じた。将来、管理栄養士として多くの現場を知りながら成長していきたいという想いを持っているため、今回の就労先で実際に働きたいと思った。（21歳・女性）

●人に恵まれたふるさとワーホリだった。水戸は自分にとって第二の故郷になったし、もし将来移住をするなら、第一に考えたい場所となった。（21歳・女性）









椿の島で新たなふるさとづくり（利島村）

基本情報



東京都利島村は、人口およそ300人、島の周囲8キロのとても小さい島。
江戸時代から250年以上続く椿産業は、全国有数の椿油の産地です。
規模が小さく、山、海が近いので、自然をより身近に感じることができます。

プログラム

全国でも珍しい椿産業に係り、住民との交流をしながら、島の様々なヒト、モノ、コトを通じて、利島を身近に感じ、都市部に戻っても利島村を「新たなふるさと」として応援してもらい、関係人口として、都市部から利島村へ人の流れを創出することを目的としています。

成　果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者等が利島に興味を持ち、都心でのイベントのお手伝いや、大学のゼミでの卒論をテーマにした方、利島の椿油で起業した方など多岐にわたる。
本事業が関係人口の創出に寄与しており、事業後もSNSでの参加者同士や地域住民との交流が続いていることもあり、相乗効果を生み出している。

【参加実績（2019～2026年３月末）】

リピーター：**187**名（※）

（※）利島への複数回の来島や継続的にかかわり続けている人数

うち令和７年度参加者：100名

就労内容・イベント内容

【業種】
農業（椿産業）

【仕事内容】
椿実拾い、仕分け作業、椿山の下草刈り、
苗木生産の補助、苗木生産用ハウスの設置等、椿産業や農業に係る全般業務



参加者の声

・椿産業に従事し、苗の植え替えや花拾い、椿の実を拾う作業を行いました。海外の企業の製品にも含まれていると聞き、目の前の一つ一つの作業が、遠く離れた場所の誰かの暮らしとつながっていると考えると、不思議な感覚がありました。年によって豊作や不作があることも含め、自然の恵みを受けながら生活が成り立っていることを実感し、普段の生活では意識しない大切なことを学んだと思います。

・１週間なのに、もっと長く過ごしたような気持ちになりました。社会人になる前にいつもと違う場所で生活してみたいと思って参加しましたが、経験以上に多くの学びと新たな発見がありました。これまで第1次産業に携わったことがなかったので、椿の花や実を拾い、苗植え替えや、水やりなど全ての仕事が新鮮で面白かったです。

・島での時間の流れかたや人間関係などの暮らし面を知れたことや、椿産業についても生産工程や歴史を知ることができ、大変大満足でした。





令和７年度　三浦半島地域ふるさとワーキングホリデー（神奈川県）

基本情報

いいね 三浦半島

三浦半島は、都心から１時間圏内でありながら、三方を囲む海と、季節を感じる山々を堪能できる地域です。

豊かな自然に育まれた四季折々の味覚が楽しめ、それを支える畑や漁港、街の一つひとつに人々の暮らしが息づいています。

黒船来航から軍港として発展してきた横須賀、古都鎌倉、逗子・葉山のリゾートエリア、三崎のマグロ・三浦のダイコンなどいろいろな顔を持つ地域です。

プログラム

三浦半島地域（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）に滞在し、働いて収入を得ながら、地域住民との交流や学びの場などを通じて、地域での暮らしを体感していただくもので、夏と春の２回、35日間のプログラムを実施しました。

本プログラムをきっかけに、参加後も三浦半島地域に関心を寄せて続けていただき、ひいては将来的な移住など、人の流れの創出を目指しています。

成　果

【参加実績（令和７年度）】

事業開始初年度の参加者数は、20名でした。

【アンケート結果より】

- ☑ 三浦半島地域に「愛着を持った」と回答した参加者　100%
- ☑ 「今後も関わりたい」と回答した参加者　100%
- ☑ 「再訪したい」と回答した参加者　100%

就労内容・イベント内容

【業種】

観光、ホテル、製造業、小売り・飲食、その他（全10者）

【就労に関するプログラム】

- ・通常業務、イベント業務の実施
- ・現地調査・ヒアリング
- ・企画の提案・実践
  （地域の魅力再発見、地域活性化、地域課題の解決、業務改善、広報等につながるもの）
- ・プログラム開始時、中間、修了時の研修
- ・プログラムの成果報告会

【地域交流、魅力発見に関するプログラム】

「三浦半島地域の社長に会い、ロールモデルに出会う。」をコンセプトに、三浦半島地域で活躍する方を訪問し、お話を伺いました。

また、三浦半島地域の各地を観光したり、イベントに参加したり、地域の豊かな自然や、地域の魅力を体感していただきました。

参加者の声

- 新しい出会いや発見があった。
- 三浦半島の大ファンになった！
- 地域の方、事業者の方と関わることができ、普段の生活では得られない体験だった。
- 三浦半島に関わり続けたい！







新潟県五泉市

基本情報



新潟県五泉市は、人口およそ4万4千人、新潟県のほぼ中心に位置するまち。
春には美しい花々が咲き誇り、夏には新緑が美しく、秋にはあたり一面が銀杏の黄金色に染まり、冬には幻想的な雪景色に出会えます。
緑豊かな山々と清流に恵まれ、四季を感じられる美しいまちです。

プログラム

都市部の若者が五泉市内に一定期間滞在し、地域の企業や農家で働きながら、お祭りなどの地域イベントへ参加することで、五泉市での暮らしを体験し、地域と関わるきっかけを提供するプログラムです。
都市部からの交流人口の増加や移住定住につなげることを目的としています。

成　果

五泉市ふるさとワーキングホリデーの参加をきっかけに五泉市に関心を持ち、事業終了後、個人的に五泉市を訪れる方もいるなど、本事業が新たな交流人口の創出に寄与しています。

【参加実績（令和４～７年度末）】

参加者：10名（R4:1名 R5:3名 R6:3名 R7:3名）
リピーター：**1**名
※ふるさとワーキングホリデー参加後に五泉市を訪れた延べ人数

就労内容・イベント内容

【業種】
農業、産直販売業

【仕事内容】
稲刈り作業補助
五泉産の野菜及び特産物などの販売 など

【ホリデー内容】
地域イベントへの参加
（例）お祭り、移住者交流会 等



参加者の声

○　安心して最後まで過ごすことができました。先輩移住者や同世代の地域の方との交流の機会をいただいて、いろんな背景を持つ人と関われ充実したものでした。また五泉に来たいと思いました。（24歳・男性）

○　地域の方々とお祭りで一緒にお神輿を引く体験をしたり、つるし雛の作り方を教えてもらいながら歓談したりして、地域住民との距離感が近くて良かったです。（20歳・男性）

○　手厚いサポートに加えて、温かい人柄の方々のおかげでとても楽しく過ごさせていただきました。参加できてよかったです。（24歳・女性）





のんびり、だけどちゃんと考えてみる。背伸びじゃない、大きすぎないスケールで。
（新潟県南魚沼市）

基本情報



南魚沼市は新潟県南部に位置し、米どころとして知られる地域です。 特に「南魚沼産コシヒカリ」は全国的に有名です。 冬は豪雪地帯となり、スキーやスノーボードが有名な観光地でもあります。 八海山や魚野川などの自然の景観が魅力で、温泉地も点在しています。

プログラム

のんびり、だけどしっかり、南魚沼の「みらい」をつくっていく。
その人の好きな、できる、寄り添える、地域と「ひと」の関係性づくりを目指す。
本プログラムの特徴は、地元企業への就労・休日の観光をはじめ、同じ参加者や南魚沼で活躍する「ひと」と話し、考えることで、今までにはなかった「自分」について考える機会があることです。ゴールはなく、自分のしたいように、好きなように探っていけるような雰囲気づくりも心掛けています。

成　果

「大学のないこの地に大学生との縁をつなげ、新たな時代を南魚沼市で共に創りたい」という思いのもと、2022年度から事業をスタート。これまで全92大学から218名の大学生が参加をしてくれました。参加者は滞在中に就労や共同生活を通し将来への価値観を共有し、それぞれが2週間の滞在を楽しんでくれました。滞在終了後に約4割の参加者が再訪し、「第2のふるさと」として南魚沼市に強い想いを残してくれました。

【参加実績（令和4年度～7年度）】

参加者：218名　リピーター：107名（※）
参加者から運営者としての再訪：14名　移住者：8名
（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に南魚沼市を訪れた人数

就労内容・イベント内容

【業種】
農業、飲食業、観光業、サービス業、宿泊業、製造業

【仕事内容】
稲作作業、野菜収穫、農場整備、飲食接客、旅館・グランピング清掃業務、伝統工芸制作業務



参加者の声

初めての体験ばかりで楽しい就労でした。
従業員の方と同じ作業をさせてもらえるのでリアルな就業体験ができたことがよかったです。休日は、様々な場所を訪れることができ、特に印象に残っていることは、山菜そばと国道の最終地点に行けたこと、最高の星空スポットに行けたことです。県外の人が探し出せないような、かつ１、２泊で絶対に訪れないような、南魚沼のコアスポットを知れた気がして嬉しかったです。
（大学生・女性）

それぞれ疲れやストレスもあったと思うのですが、共同生活ではお互い気遣いあって協力して生活をより良くしようとする姿勢が印象的でした。生活面でも、規則正しい生活・美味しいご飯・信頼できる人との繋がりが幸福度につながっているのではないかという気づきになりました。就労の中でも、就労先の方々にとても良くしていただいて、人への接し方という点でとても勉強になりました。総じて、出会った方々がとても素敵で、そうした人との出会いが人生の満足度を上げるのではないかなと思いますし、そうした人との出会いが自分が一番重視しているものだと気づきました。
（大学生・男性）





心を癒す「島じかん」～喧騒を離れてゆったりと暮らす～　（粟島浦村）

基本情報

新潟県岩船郡粟島浦村は、県北西部に位置し、人口約300人で二つの集落からなる一島一村です。

主要産業は漁業と観光業で、観光客は年間1万人以上が訪れます。

島民全員が家族の様なあたたかい環境で、歩いていて会った人は全員に挨拶を交わしてくれます。また、畑で自家栽培した野菜や、採れた魚などを分けてもらうこともあります。

共助の暮らしが根付いた地域は、移住者や来訪者を温かく迎え入れます。



プログラム

粟島を「知ってもらいたい」「来てもらいたい」「体験してもらいたい」「好きになって住んでもらいたい」を目指して取り組んでいます。

都会の喧騒を離れ、大自然の中で暮らしながら、ゆったりとした「島じかん」を感じ、島の文化やひとに触れることで、心を癒してください。さらに観光客との交流も通して、今後の人生に活かせることも体験できると思います。

成　果

ふるさとワーキングホリデーの参加者で、その後に本事業以外(観光)で訪れた人や関係を継続している人が複数いる。

そのため本事業は関係人口の拡大に寄与しているものであり、地域の人との関りだけでなく、参加者同士の交流なども通じ、体験や暮らしが充実したものとなり、参加者と地域に相乗効果を生み出している。

【参加実績（2025年4月～2025年12月末）】

参加者：25名　　リピーター：9名（※）　移住者：0名

（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に1回以上、粟島浦村を訪れた人数

就労内容・イベント内容

【業種】

飲食業、宿泊業、観光施設・レジャー

漁業、農業

【内容】

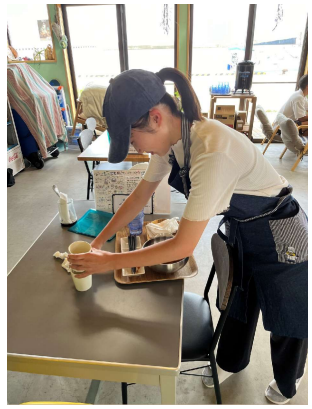
「飲食店(カフェ、食堂)」接客・調理補助

「宿泊施設(民宿・旅館）」清掃作業・調理補助・接客

「直売所」販売員

「漁業」網揚げ・箱詰

「観光案内所」接客・案内



受入事業者の声

・全ての業務にまじめに取り組み、接客の応対も大変良かった。家族とも仲良くなり、お互いに充実した日々を過ごすことができたと思う。（飲食店）

・家族全員と仲良くなり、いろいろな話をすることができた。仕事も熱心に取り組んでいた。参加後には夫婦で参加者の居住地まで遊びに行く仲となった。今後も関係を続けていきたいと思う。（宿泊施設）



参加者の声

・都会には無い、ゆったりとした島時間を楽しめました。（20代・女性）

・地域行事(盆踊り)にも参加できて、とても楽しく過ごすことができた。（20代・男性）

・お世話になった家族や地域の方々の生活に関する意見を伺うことができ、将来の仕事に繋げるための貴重な機会となった。（20代・男性）



“自分の好きを選べるまち”妙高市でのワーキングホリデー（妙高市）

基本情報



新潟県妙高市は、日本百名山の一つである妙高山の麓に広がり、雄大な自然と四季の移ろいを感じながら暮らせるまちです。
冬は世界的にも評価の高いパウダースノーでスキーやスノーボードを堪能し、春から秋にかけては登山、トレッキング、サイクリングといったアクティビティが楽しめます。

プログラム

妙高市のワーキングホリデーは、自然に囲まれた環境の中で、「暮らすように滞在し、働く」体験ができるプログラムです。

「田舎で暮らしてみたい」
「地方ならではの仕事を体験してみたい」
「地域の人たちと交流したい」

そんな思いを持った県外の若者（大学生や社会人）をお待ちしています。

成　果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、移住に至った方やリピーターも見られることから、関係人口の創出・拡大及び将来的な移住・定住の契機の創出につながっている。また、受入事業所からは、新たな視点の獲得や社員のモチベーション向上につながったとの声をいただいている。

【参加実績（令和４～７年度末）】

参加者：18名（うち令和７年度参加者：４名）
移住者：**1**名
関わり続いている参加者：**5**名（再訪・妙高産米の定期購入など）

就労内容・イベント内容

①農業
【仕事内容】
農産物の管理、収穫、出荷作業など

②宿泊業
【仕事内容】
調理補助、館内の清掃、客室準備など

参加者の声

○日本各地を体験したい思いから妙高市のワーキングホリデーに参加し、農作業や地域の方々との交流を通じて貴重な経験を得た。初めての作業も丁寧に教えていただき、楽しく取り組むことができ、農業への関心も高まった。民宿での生活や休日の交流を通じて地域の温かさに触れ、「こんな人になりたい」と思える出会いにも恵まれた。得た学びや優しさを今後に生かしていきたい。（20代・女性）

○不安を抱えながら参加したワーキングホリデーだったが、地域の方々の温かさに支えられ安心して過ごすことができた。農作業や雪国ならではの暮らしを体験する中で、自然の厳しさと豊かさの両面を実感し、多くの学びを得た。地域での支え合いや人とのつながりの大切さにも気づき、コミュニケーションの楽しさや自分自身を見つめ直す機会となった。（10代・女性）

○妙高市での短期滞在を通じ、雪国の厳しさと豊かな自然の両面を体感した。地域で支え合いながら暮らす人々の姿に触れ、日々の生活の大変さと同時に温かさも実感した。就業体験では多様な人々と交流し、多くの学びと刺激を得た貴重な経験となった。（20代・女性）









海と山の恵みにあふれるまち魚津でワーホリ！　（富山県　魚津市）

基本情報



富山県魚津市は、人口およそ４万人弱、富山県東部に位置する、海と山がとても近いコンパクトな街です。

県内唯一の水族館や遊園地をはじめ、埋没林博物館など、観光スポットも目白押し！

魚津駅前には飲食店が多数揃い、紅ズワイガニやホタルイカ、バイ貝などを味わえます。

春には蜃気楼が見られるかも！？海と山の恵みを味わいに来ませんか？

プログラム

滞在期間は、２週間から１ヶ月。滞在期間の過半数以上の日数を就労に充てていただきます。

休暇には市内観光や地域住民・参加者同士の交流など、様々な体験をしていただけるよう調整いたします。魚津という場所はもちろんのこと、魚津で出会った”好きな人”と再会するために、魚津を訪れてもらえると嬉しいです！

楽しく充実した滞在期間となるよう、全力でサポートいたします！

成　果

ふるさとワーキングホリデーで出会った事業所の方々や魚津の地元の人に再会するために、再び魚津を訪れてくれています。

また、事業所と参加者同士で繋がりを持ち、魚津の農産物を送ってもらったりと交流を続けています。夏の祭りなどで参加者同士で「うおづで再会しよう」と言ってくれてている参加者もいます。

【参加実績（2025年８月～2026年３月）】

参加者：８名（夏:５　冬:３）　　リピーター：９名（※）

（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に魚津市を訪れた人数（R８.３時点）

就労内容・イベント内容

【業種】

農業(水稲、果樹園)、建設業（塗装）
製造業(和菓子)、行政

【仕事内容】

稲刈り補助、農産物加工、果樹狩り補助、現場作業・見学、事務作業、和菓子製造・販売、各種イベント出店など

【イベント内容】

市内観光案内、SUP体験、農作業体験、地域住民との交流など

参加者の声

・こんなにも中身がギュッと詰まった２週間は初めてだった。様々なひとのサポートのおかげで、久しぶりに生活が充実しているという実感が湧いた滞在であった。（20歳・女性）

・ワーキングホリデーに参加して、多くの人と出会い、食事会や交流会などを開いてもらったことはとても思い出に残っていて、参加して良かったと思った。（19歳・女性）

・大学では似たような人たちとばかり関わっているので、社員の方達の考え方や働きぶりはとても刺激になった。（23歳・男性）

・田んぼの草刈りなどを主に行ったが、食への感謝や、農業への知見が深くなった。受入事業所の代表との意見交換は、特に素晴らしい体験で、ワーキングホリデーに参加して良かったと思えるものになった。（21歳・男性）







ふるさとワーキングホリデー（長野県伊那市）

基本情報

伊那市は、南アルプスと中央アルプスのふたつの雄大な山々に抱かれた長野県の南部に位置。

３大都市圏からのアクセスもよく、
市内には暮らしに便利なお店もたくさん。
夏は涼しく冬は雪の少ない気候で、
青空が広がるとても暮らしやすい地域です。



プログラム

伊那の大自然を活かした農業や林業のほか、宿の接客やサービス業など、さまざまなお仕事を体験できます。
滞在中のお宿は、勤務先にちょうど良い距離のゲストハウスをご用意。
お仕事や休日の移動は、レンタカー（軽自動車またはコンパクトカー）を利用していただきます。
※お宿・レンタカー・ガソリン代は市が全額補助いたします。

オフの日は伊那の暮らしを満喫！
市内のイベントや地域の交流などもご紹介。観光や登山・アクティビティなど、伊那市を満喫していただけます。

成　果

＜平成元年～令和７年度 実績＞
応募者総数　：４５４名　　参加者総数　：１０３名
リピーター：**４３**名（※）移住者：**１６**名
（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に伊那市市を訪れた延べ人数

幅広い年齢層の参加者に伊那を体験してもらい、伊那への「移住のきっかけづくり」として重要な事業だと感じている。
また、ふるさとワーキングホリデーの体験を終えた参加者が、後日個人的に来伊しているケースもたくさんあり、関係人口への寄与や、参加者と地域の相乗効果を生み出している。

就労内容・イベント内容

・農業　　：上伊那特産アルストロメリアの収穫、自然農米の田植え稲刈り、野菜や果物の栽培等
・林業　　：森林整備、薪づくり及び窯出しや配達、松葉の加工等
・観光業　：農業公園における体験補助、接客等
・複合施設：施設管理、接客等

参加者の声

◇それまで自分と縁のなかった土地で暮らすという経験が新鮮でした。単なる旅行では得られない出会いや経験ができて良かったです。

◇ゲストハウスで様々なバックグラウンドの人たちと出会えたこと、初めましての人たちがいつの間にか顔をみるとほっとする存在になっていたこと。
大切な思い出になりました。

◇３週間過ごすことで、「伊那市で暮らすとしたら、こんな感じになる」というようなイメージを、具体的に思い描くことができたことが良かったです。

◇ゲストハウスのオーナーさんとの出会いも、今回のワーホリ参加の最大のメリットの一つで、とても良い刺激をもらいました。

◇農業体験だけでなく、日本の農業が抱える課題や、農業で生計をたてる難しさなど、さまざまな話をしていただけました。

◇全く異なる環境に飛び込み自分と向き合えたことで、今の自分の優先すべきこと、したいことを明確に出来た気がします。
今も連絡をくださる方がいて、たくさんの愛を感じることが出来ました。









しなのおおまちワーキングホリデー/むらのくらし（長野県大町市）

基本情報



長野県の北西部に位置する大町市は、西側一帯に鹿島槍ヶ岳、爺ヶ岳などの3,000m級の北アルプスがそびえ、山々の素晴らしい眺めとともに、四季の移ろいをはっきりと感じながら暮らすことができるまちです。

プログラム

1　大町市ならではの様々な就労体験をしながら、豊かな自然や文化、大町市での暮らしを体験していただく。
2　地域の「アル物探し」から生まれた、セミオーダーのプログラムを提案。
3　滞在期間中には、地域活動等を通じた地域住民との交流や市内を知る機会を提供。

成　果

滞在期間中、自身のSNSで、就労や生活の様子を発信してくださる方、参加をきっかけに、本事業以外でも訪れてくださる方、移住を検討されている方、移住された方など、本事業が新たな関係人口の創出に寄与している。

・参加実績
（令和３年度～令和７年度）
応募者　　72名
参加者　　52名
受入事業者　27団体



就労内容・イベント内容

○農業
例）りんご、水稲の栽培補助及び販売補助

○山小屋経営

○広告代理、不動産、企画制作、メディア運営
例）メディア掲載用取材、イベント企画運営、グッズ企画、農園管理

○地域づくり、地域課題解決プログラム
例）地域内に滞在し、地域の産業や地域づくりなど幅広くかかわっていただく



参加者の声

○大町での仕事、滞在を通して、いわゆる“生活”を体験することができた
○普通に生活していたらできなかった体験や関わることができなかった人達と交流ができ、かけがえのない経験となった
○ワーキングホリデーへの参加目的は人それぞれだと思うが、やはりそこで暮らすことによって、大町の魅力も伝わっていくと思うので、続けてほしい
○ワーキングホリデーで大町市に住んだことによって、将来の選択肢の１つになった

［受入事業者の声］
とても素晴らしい事業だと感じている。
期間後、移住をするか否かは長期的に見なければわからない点もあるかと思うが、この事業をきっかけに、この地域に訪れることになったり、人間関係が構築されることになったり、という効果は間違いなくあり、将来の大町への財産を生み出しているのではないかと思っている。





あなたの「ふるさと」を見つける夏休み　岐阜県瑞浪市

基本情報



岐阜県瑞浪市は、古くから美濃焼の産地、中山道の宿場町として栄えた歴史のあるまちです。まちのあちこちから化石が出土する化石のまち、県内最多の１３ゴルフ場を有するゴルフのまちみずなみとしても知られています。
東京駅から約3時間、名古屋駅から約50分に位置しています。

プログラム

期間は２週間で、空き家等にシェアハウスしていただきます。
瑞浪市ワーホリの特徴として、多様な業種、職種があることです。また、瑞浪市の「人」の魅力を知っていただく機会でもあります。
初日のキックオフ研修をはじめ、中間研修、修了研修と、就労先の事業所だけでなく、様々な事業者や地域の方々と出会う機会があります。
また、期間中の地域のイベントをご案内しています。

成　果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者等が瑞浪市に興味を持ち、後に本事業以外でも訪れる方もいます。名古屋市でのふるさと納税事業におけるイベントや東京での移住イベントへの参加など、継続的に参加者との交流を続けています。
【参加実績】
令和５年度　１０名
令和６年度　１０名
令和７年度　５名
移住者はいないものの、瑞浪市への再訪や、市イベントの参加などをしている。

就労内容・イベント内容

【業種】
製造業、小売・サービス業、まちづくり事業など
【仕事内容】
オーダーメイドタイル製造補助、クラフトビール製造、陶磁器製造補助、動画制作など
【イベント】
瑞浪市の高校生が企画した、五平餅づくり、化石博物館見学、化石堀りの体験等を始め、地域や瑞浪市の魅力を知っていただくイベントや、事業者さんとの交流会を実施。



参加者の声

○印象に残っていること
・就業先で温かい雰囲気の中で働くことができた。
・化石堀りや五平餅作り、高校生との交流が楽しかった。

○仕事の楽しさ、やりがいと感じたこと
・作った物を褒められた時にやりがいを感じた。
・ひとりではなく、一緒に意見を交わしながら工夫をした時間がとても学びにもなりました。
・人の喜びや人同士のつながりに携わることができるのは、大きなやりがいだと思いました。

○瑞浪市の魅力について
・外からの人に対してオープンな方が非常に多いと感じました
・自然豊か。少し車を走らせれば観光地や商業施設がある
・特徴のある人ばかりではなく、優しくあたたかい人が沢山いるのも瑞浪の大きな魅力であると思います。





日常から １歩踏み出す ２週間 （岐阜県下呂市）

基本情報



岐阜県下呂市は、日本三名泉「下呂温泉」を誇る観光都市です。面積の約9割が森林の自然豊かな街で、人口約3万人に対し年間100万人超の宿泊客が訪れます。飛騨川沿いの温泉街と四季の絶景が魅力で、まさに温泉と自然が共生する癒やしの地といえます。

プログラム

下呂市で「働き、遊び、暮らす」特別な2週間を過ごしませんか？日本三名泉の湯けむり漂う街で、宿泊施設や農家など地元の方と共に汗を流すふるさとワーキングホリデー。単なる観光では見えない、下呂の「日常」と「人の温かさ」に深く触れるチャンスです！

滞在補助もあり、休日は名湯巡りでリフレッシュ！自然豊かなこの街で、新しい自分や「第二のふるさと」を見つけてみませんか？心温まる最高の出会いが、あなたを待っています。

成　果

下呂市ふるさとワーキングホリデーの参加者がプログラム終了後にプライベートで下呂市を訪れたり、東京でのPRイベントに現地参加してくれたりと、関係人口の増加に着実に結びついています。

事業者も毎年継続して受け入れを希望しており、単なる労働力としてでなく、都市部の若者から受ける新鮮な刺激や交流を楽しみにしています。

【参加実績（平成29～令和7年度）】

参加者：126名　　うち令和７年度参加者：15名

就労内容・イベント内容

【業種】
農業、宿泊施設、キャンプ場、小売業、製造業、ライター、アクティビティガイド、カフェなど

【仕事内容】
野菜収穫、草刈り、宿泊者対応、接客・販売、HP記事作成、ガイド、菓子製造 等

【ホリデー内容】
シャワークライミング、森のアスレチック体験、カヤック・SUP体験、参加者交流会、観光案内 等

参加者の声

○ほんっとうに来てよかった！山に囲まれてなんにもないところだったけど、地元の人の優しさや移住してきた人の熱量を感じとれて充実した日々を過ごすことが出来ました！（20代・男性）

○人生初のふるさとワーキングホリデーを下呂で選んでよかったです。本当に貴重な2週間でした。正直、こんなにも濃い時間を過ごせると思っていなかったので下呂から帰ってきて1 週間経った今、ものすごくさみしいです。またいつか、必ず下呂に行きたいと思います。本当にありがとうございました。下呂での経験は、一生忘れません。（20代・女性）

○たくさんの素敵な景色を見させてただき、たくさんの素敵な方と出会わせていただき、本当にありがとうございました。あっという間の2 週間でしたが、私にとってこの2 週間はとても大切な宝物の日々となりました。（20代・女性）







人に、地域に、自分に【出会う旅】をしませんか？　岐阜県加茂郡白川町

基本情報



岐阜県加茂郡白川町は清流と山々に囲まれた自然豊かな町で、白川茶の産地として知られています。
四季の変化が美しく、川遊び・キャンプ・森林散策など、里山ならではの暮らしや体験を楽しめます。
地域のつながりを大切にしながら、移住や地域づくりにも力を入れている、あたたかな雰囲気の町です。

プログラム

地域での「働く」と「暮らす」を体験できる滞在型プログラムです。
農業や観光、まちづくりなどの仕事に関わりながら、里山ならではの日常や地域住民との交流を楽しめます。
コーディネーターによるサポートもあり、地方での暮らしや新しい働き方に興味がある方におすすめです。

自分にあった「働き方」「暮らし方」に出会ってみませんか？

成　果

　ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者等が白川町に興味を持ち、後に本事業以外でも訪れる方もいる。
　本事業が関係人口の拡大に寄与しているものであり、参加する学生間の交流や地域の人との関りなどを通じ、体験が充実したものとなり、参加者と地域に相乗効果を生み出している。

【参加実績（令和５～７年度）】

参加者：４４名　　リピーター：**１０**名（※）移住者：**６**名
（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に気仙沼市を訪れた延べ人数
うち令和７年度参加者：１５名

就労内容・イベント内容

【業種】
　農業、飲食業、宿泊業、まちづくり関連

【仕事内容】
野菜収穫・手入れ、レストラン業務、キャンプ場清掃、空き家管理

【ホリデー内容】
観光案内、語り部WS、ふりかえりWS等

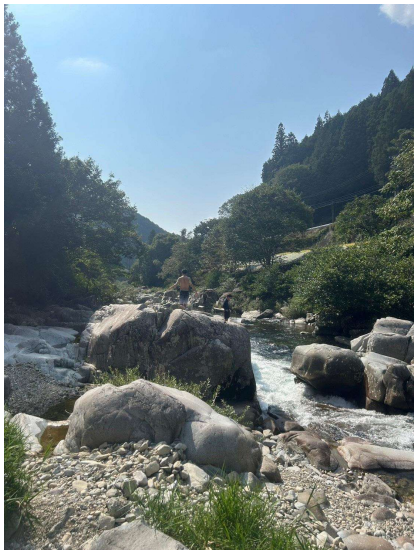
参加者の声

○　人に話しかけると、かなりの確率で気前よく答えてくれること。これが何気に一番の気づきかもしれないです。今までは相手を不快にさせたり、相手に失礼だと思われることを恐れるあまり何事にも消極的になることが多かったと思います。しかしワーホリを通じてそういうことが挑戦をしない言い訳になっているように感じましたし、自分が本当にやる気を持っている限りは失礼だとか不快だとかはあまり思われないと気づきました。（20歳・女性）

○　茶農家や茶工場の方とお話しする中で、自分はマーケティングに興味があるのだと気付きました。実際の現場での話を聞くことで、お茶の魅力をどう伝えるかを考えることの面白さを実感しました。また、滞在中に自分は質問するのが下手だと感じる場面がありました。他のワーホリ生のおかげで、自分は普段、考えを言語ではなくイメージで捉えていることに気づき、そのため自分の考えを他人に伝えたり質問することが難しいのだと理解しました。（20歳・男性）







海と山と仕事と 東伊豆町で夢を叶えよう！（静岡県東伊豆町）

基本情報



静岡県東伊豆町は、伊豆半島東海岸の中央に位置する人口約1万1千人ほどの町です。6つの温泉郷があり、稲取細野高原では伊豆七島を望む大パノラマをご覧いただけます。

稲取キンメやイセエビ、ニューサマーオレンジなどの柑橘類も豊富で、海の幸・山の幸にも恵まれています。

就労内容・イベント内容

【業種】
1）保健師
2）その他（農業、宿泊業等）※現在検討中

【仕事内容】
1）赤ちゃん教室、歳児健診などの母子保健事業、特定健診やフィットネス教室などの高齢者・介護予防事業　の補助など
2）農家の収穫作業、観光・宿泊業　など

プログラム

東伊豆町を知って、
東伊豆町を選んでほしい！

就業を通して、観光だけでは知ることのできない町の魅力を、地元住民・移住者などさまざまな人と交流することで体感していただけるプログラムを企画しています。



参加者の声

●活動イメージ



○高齢者の運動教室の際に手を取り、パワーをもらった、また来てほしいと言ってくださったのがとてもうれしかった思い出です。事業を通じて東伊豆の活気や住んでいる人の人柄の良さ、やさしさをすごく感じました。事業だけでなく、事務作業の際にも東伊豆の魅力を働いている人がたくさんお話してくださったのも思い出に残っています。（10代　女性）

○５日間と長い時間東伊豆福祉センターで仕事をさせてもらい授業で習ったことのない仕事を知ることができたり、授業で習っていたことを見たり経験することができ実際に行ってみないとわからないことや保健師さんの観察力や判断力の驚かされたりしました。今回の経験から地域に密着した東伊豆のような保健師として働きたいと改めて思いました。とてもいい経験になりました。（20代　女性）

○ワーホリを通して、市町の保健師の仕事へのイメージが広がり、これからの勉強にもなったと思います。健康教室などの介護予防事業にも取り組み、地域の方とも交流を深めることができ楽しかったです。住民との距離が近いことを感じると共に、集団の把握やその地域の健康課題に常に目を向けニーズを考えていくことが市町の保健師として大切なことなのだと思いました。（20代　女性）

成　果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、若年層への周知ができ『東伊豆町にまた来たい！』と興味を持ってくれている。

本事業は課題である人手不足解消に対する直接的なアプローチではあるが、関係人口の拡大のきっかけづくりにも寄与しており、参加者との交流が地域の活性化にもつながり、相乗効果を生み出している。

【参加実績（2024年８月～2026年3月末）】

合計　23人（R6年度：12人、R7年度　11人）

私たちの当たり前は、あなたの特別かもしれない（静岡県南伊豆町）

基本情報



南伊豆町は伊豆半島の最南端に位置する、人口約7,100人の小さな町です。美しい山々、温暖な気候に恵まれた自然豊かな場所で、春には桜、夏には透き通るような海、冬には満点の星空、四季折々の楽しみがここにはあります。

プログラム

・海、山、温泉に囲まれた南伊豆町で「暮らすように働く」体験
・カフェ、宿泊施設、観光施設などで、地域の人と関わりながら仕事体験
・休日や空き時間には、海水浴、釣り、温泉巡り、絶景スポットめぐりも楽しめる
・地元の人との交流やイベントを通じて、観光だけでは出会えない南伊豆の日常を体感

成　果

・南伊豆町での仕事や暮らしを通じて、地域の人との温かいつながりが生まれた
・参加者からは「また来たい」「もっと滞在したい」といった声が多く寄せられた
・地域のお店や事業者との交流を通じて、観光では味わえない南伊豆の日常を体感してもらえた
・SNSでの発信や口コミにより、南伊豆町の魅力発信にもつながっている

【参加実績（2025年度）】参加者：32名　リピーター：4名

就労内容・イベント内容

【 業種 】
飲食業、宿泊業、観光施設、農業
【 仕事内容 】
米や果物の収穫作業、宿泊施設の清掃等、飲食店での接客業務など
【 イベントなど 】
地元のお祭りに参加、地元住民との交流会
アテンドツアーでの町内案内

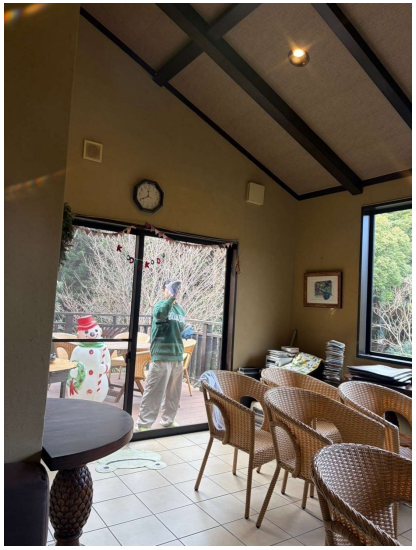
参加者の声

・「観光では出会えない、地域の人との繋がりができた」
・「海の近くで働きながら暮らす体験が新鮮だった」
・「仕事だけじゃなく、休日も南伊豆を満喫できた」
・「地域の人が温かく、また来たいと思えた」
・「将来、移住や二拠点生活も考えてみたくなった」









暮らし×仕事体験　蒲郡に出会う２週間　がまごおりふるさとワーホリ（愛知県蒲郡市）

基本情報

愛知県蒲郡市は、人口約７万７千人、南を三河湾、他を山に囲まれた自然豊かなまちです。県内有数の温泉観光地で、市内には４つの温泉郷があります。また、国の天然記念物に指定されている竹島や潮干狩りや花火大会など季節ごとに様々なイベントを楽しめます。

特産物は、蒲郡みかんと深海魚をはじめとする新鮮な海産物です。



プログラム

本市の魅力である観光や山と海を感じられるほどよい田舎として、仕事と暮らしの環境を体験できるプログラムになっています。

仕事面では、農業や旅館、テーマパークなど観光地ならではの賑わいを提供する仕事や、地場産業であるロープ製造業、地域活性化にも取り組む地元食材を取り扱う飲食店などがあり、蒲郡の特徴を多様な面から学ぶことが出来ます！

成　果

○本事業で初めて蒲郡を訪れた参加者がほとんどで、その全員が「ふるさとワーキングホリデー」をきっかけにして、本市を知ったのことでした。若者世代への知名度向上にとても効果的だったと感じました。

○実際に魅力を体感したり、地域に知り合いが出来たことで、再度来訪したいとの声を多く聞きました。

就労内容・イベント内容

【就労内容】
■農業：観光農園での土産販売、飲食業、農作業
■飲食業：地元食材を扱う飲食店でのホール・キッチン業務
■製造業：ロープ製造関連作業
■宿泊業：老舗温泉旅館での客室清掃や食事提供
■観光業：テーマパークでのスタッフ業
【イベント例】
ヨット体験、地元食材でのバーベキュー、西浦温泉散策、竹島散策、竹島水族館、果物狩り、移住者との交流会など

参加者の声

○特にこれといったイメージがなかったのが正直なところで海際のみかんが有名な地域なのかなぐらいに思っていました。プログラムを通して、地域に対する熱い思いを持った方が多くいることを感じました。私たちが出会ったようなかっこいい大人たちがいるから蒲郡はもっと面白い地域になっていくんだと思います。魅力はしっかりとありながらも観光地化しすぎていないところが穏やかに時間が流れているようで心地よかった。（20代・男性）

○また訪れたいと感じました。自然が多くて魅力のある土地、市内には温泉であったりラグーナといった商業施設があるので、友達を連れて旅行目的で来たりしたいです。（20代・女性）

○一次産業と二次産業は普段東京で過ごしていると全く関わりのない仕事だったので、どちらもいい経験が短期間で出来ました。（20代・女性）









あなたのひらめきが、南伊勢の未来を動かす~働いて、暮らして、考える~（三重県南伊勢町）

基本情報



三重県南伊勢町（みなみいせちょう）は、リアス式海岸が広がり、町域の約6割が伊勢志摩国立公園に含まれる、海と山の自然がとても豊かな地域です。町域の85%を山林が占め、沿岸の漁村景観と農山村の風景が共存しています。

プログラム

三重県南伊勢町で実施するワーキングホリデー事業は、都市部の若者が一定期間滞在し、主に農業・漁業などの一次産業の現場で働きながら、地域住民との交流や暮らしを体験するプログラムです。就労体験に加えて、**地域課題に向き合うミッションや発表会も行い**、南伊勢町との継続的な関わりを生み出すことを目指しています。

成　果

・11名の参加と6事業者の参画により、関係人口の創出につながった
・過去の参加者の再訪・継続的な地域関係が生まれた
①丸池水産、アサヒ農園、庄下糀屋などで、前年度参加者の**再訪・就労参加**が見られた
②東京での漁業就業フェアや三重テラスでのイベントなど、**町外での魅力発信・企画運営**にも発展した
③友人を南伊勢町に招くなど、参加者を起点とした**新たな関係人口の創出**につながった
④来年度の古民家DIY企画など、**継続的・発展的な地域関与**も生まれている

就労内容・イベント内容

【業種】
　農業、水産業
【仕事内容】
　みかんジュースの加工、市場での魚のせり補助、運搬等
【ミッション内容】
『南伊勢の海の恵みから“ここでしか生まれない”自社商品を作り出す挑戦をする』など事業者によって異なるミッションにチャレンジ
【ホリデー内容】
　町案内、地域を知るためのRPGイベント、シーカヤック、磯遊び、マグロ漁船ツアーなど

参加者の声

・自分達で課題を見つけその課題の解決を模索し実行しました。どの過程も楽しくでき、最終的に達成感を味わえました。（20代女性）
・知識が深まって面白く学べた。また仕事だけでなく、事業者さんや地域の方との交流もたくさんあって町の雰囲気を知れてとてもよかった。（10代女性）
・外から来る人を迎え入れてくれる雰囲気がめちゃくちゃ過ごしやすかったです。（10代男性）
・南伊勢町の季節ごとの魅力を知りたいので、少なくとも半年に1回は来たいと思った。また、今回お世話になった人に会いに来たいと思う。（20代男性）
・全く違う場所で育ってきた人たちと共同生活して、楽しく上手くできたと思う。（10代男性）



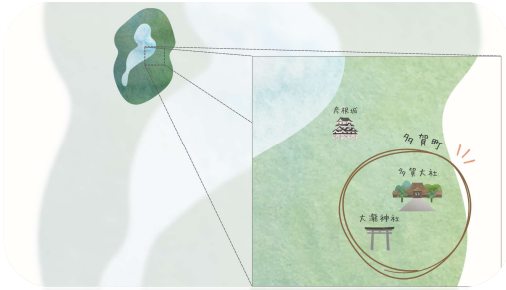






本当のわたしで、日々の幸せを見つけていく （滋賀県多賀町）

基本情報



滋賀県の東のはしっこ、小さな山あいにある人口およそ7千人の多賀町。
古くから「お多賀さん」の名で親しまれる多賀大社や丁寧に守られてきた自然が自慢。ゆっくりとした暮らしがここにはあります。

プログラム

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
チェックイン 歓迎会	まちめぐり	就労	就労	WS①	就労	おでかけ
8日目	**9日目**	**10日目**	**11日目**	**12日目**	**13日目**	**14日目**
WS②	就労	多賀人訪問	就労	WS③	多賀人訪問	体験記提出 チェックアウト

成　果

ふるさとワーキングホリデーに参加した若者が１名地域おこし協力隊として本町に移住した。また、別の若者は地域の祭りに神輿の担ぎ手として再訪してくれるなど、事業後も参加者と地域住民との交流が継続している。

若者の減少により担い手の不足に悩み、地域の活力が低下しつつある中で、関係人口の拡大は大きな成果であり、参加する学生と地域の人との交流が、地域に新たな魅力を生み出している。

【参加実績（令和７年度末）】

参加者：11名　　リピーター：4名　移住者：１名

就労内容・イベント内容

【業種】
農業、林業、製造業、建設業
※業種拡大のため企業と交渉中

【仕事内容】
ハーブや野菜の収穫、炭出し、椎茸の菌打ち、部品の加工、空き家の改修など

【ホリデー内容】
町内、県内の観光案内、ものつくりWS、自己探求WS、地域の方との交流会など

参加者の声

・滋賀に観光で来たとしても、行かなかったであろう場所にたくさん行けたことが良かったです。ダラダラした時間も、川に行ったり神社に行った時もどれもとても楽しかったです。ただの旅行では味わえない体験がたくさんできたことがホリデーで印象に残っている事です。

・機械で刈り切れなかった稲穂の鎌での切除、シャベルを使った田んぼの水路作りなど農作業を体験して、食物を作るためにはこれほど地道な作業と体力が必要になるのかという驚きと同時に、農家さんへの感謝の気持ちがより一層強くなりました。

・幸せについてや自分の内面について深く探るボードゲームはやっていて本当に楽しかったなと思いました！スタッフの方が1番やってる中で楽しそうやったのがなんか思い出に残ってます！









暮らすように働く～もうひとつのふるさと～（兵庫県上郡町）

基本情報

兵庫県上郡町は人口およそ1.2万人、兵庫県の西の端に位置します。電車で大阪から97分と都心部からのアクセスがよく自然豊かな町です。年間の平均気温は約15℃と、１年を通して暮らしやすい瀬戸内海型の穏やかな気候です。町の大半が山地で、広葉樹の自然林が多く、季節の移り変わりを楽しむことができます。まちの中央には清流千種川が流れています。

プログラム

①農業
㈱MOTOが営む、ぶどう農園「しらはた農園」は上郡町赤松地区、細野に位置します。
細野地区は「落ちない城 白旗城」跡の残る白旗山麗。
夕日に照らされた段々畑や谷川の美しい景観ー。
山から流れ込む谷川の清流と谷地ならではの山谷風がもたらす寒暖差が育んだ葡萄で有名です。
㈱MOTOさんでは、定期的にぶどう収穫体験やワインを楽しむ「ホイリゲ」などのイベントも開催しています。
自然に囲まれた農園に遊びに来ませんか？　そして、思いっきりふるさとを体験してみませんか？
仕事が休みの日は町内のイベントや、地域の人との交流も可能です！お試し暮らしのひとつの方法として、農業を身近に感じられるふるさとワーキングホリデーに参加してみませんか？
滞在中は、暮らしの情報提供や、地域交流等、ご希望に応じてご案内します！

②ホテル業
上郡町のランドマークで観光に関わる仕事を体験しながら、兵庫県を満喫しませんか？
上郡ピュアランド山の里の指定管理者「株式会社矢掛屋」の代表は、株式会社シャンテCEOである安達精治氏。
ホテルだけが儲かるのではなく、選ばれ続ける地域を目指して、地域とホテルとのつながりを第一に考え経営をされています。
数々のホテル運営や大学等で講義される現役の経営者から、観光について学べる最高の機会です。
仕事が休みの日は町内のイベントや、地域の人との交流も可能です！
上郡町では移住体験住宅もありますが、お試し田舎暮らしの１つの方法として、
地域を身近に感じられるふるさとワーキングホリデーに参加してみませんか？
滞在中は、暮らしの情報提供や地域交流等、ご希望に応じてご案内します！

成　果

【実績（令和７年度）】　参加者：２名
継続して連絡を取っており、今年度のワーホリの募集についても案内予定。
ホテル主催の講演会で講師として再訪予定。上郡町との関わりが継続しており関係人口となっている。

就労内容・イベント内容

【業種】
①農業（ぶどう園）②ホテル業
【仕事内容】
①収穫、出荷するぶどうの袋詰め、発送作業
②宿泊客の案内・ホテル内清掃業務

【ホリデー内容】
町内の観光、地域おこし協力隊との食事会、
ぶどうの特産品の試作品作り、地域交流カフェで地元の人と交流、県民局主催のフェスティバルで上郡町PRブース出展時に参加し子ども向けワークショップを実施

参加者の声

・就業先のホテルが宿泊場所であった。そのため宿泊先では他の宿泊者と関われなかった。ワーホリでは自炊をしたり、宿泊者同士の交流を求めてくる方が多いと思うので今後はそういう場所を宿泊先とした方が良いのでは。（６０代男性）
・就業先のホテルの社長との食事や仕事終わりでの懇親の時間では、様々なお話をお聞きすることができとても勉強になった。従業員の人たちや上郡町で出会った人はとても良い方たちばかりだった（６０代男性）
・移動方法が限られており、買い物のときも役場職員に付き添ってもらう必要があり気を使った。宿泊先と事業所を自分で移動できる手段があれば良かった（２０代女性）
・みんな親切であたたかい人たち。とてもよい時間となった。また来たい。（２０代女性）







ふるさとワーキングホリデー in 徳島（徳島県徳島市）

基本情報

徳島市は四国・徳島県の県庁所在地で人口約25万人、面積191㎢の中心地。 400年の歴史を持つ阿波踊りの本場であり、県庁所在地で日本で2番目に小さい本市は、東西南北20km圏内に都市機能が凝縮されていることもあり、都市機能と自然環境が共存したコンパクトシティでもあります。

また、藍染や木工など、伝統産業の確かな技術が今も地域に根付いており、各地で体験することも出来ます。

プログラム

ふるさとワーキングホリデー in 徳島は徳島県外在住の方が、徳島市に一定期間（７泊８日）滞在して、伝統産業事業所で働きながら地域の魅力にふれ、とくしま暮らしを体験していただく取り組みです。

徳島市の伝統産業である藍染・木工に関する事業所で働きながら気休日には市内を巡りや体験活動を行うホリデープログラムを実施。

就労内容･イベント内容

【業種】伝統産業

【仕事内容】藍染事業所もしくは木工事業所での作業全般の補助

【ホリデー内容】観光案内、阿波踊り鑑賞・体験、藍染体験

成　果

ふるさとワーキングホリデーの参加者たちと就労先の事業所や地元住民との間に関係が生まれたことで、本事業後に本市へ再訪するきっかけ作りに繋がっています。

事業所においても全国から様々な年齢、性別の方と交流する機会が生まれ、事業所自体の刺激になる等、参加者と地元事業所の双方にメリットを生み出しています。

【参加実績（令和３～7年度）】

参加者：74名　　うち令和7年度参加者：18名

（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に徳島市を訪れた延べ人数

参加者の声

○　以前から関心を持っていた藍染を、実際に現場で体験することができ、とても幸せでした。また、企業の方からは現場ならではのご意見や経験談を直接伺うことができ、自分の知らなかった視点や考え方に触れられたことが大変勉強になりました。（30代・男性）

○　実際に暮らしてみると、想像以上に便利な町だと感じました。買い物もしやすく、生活に必要なものはすぐに手に入ります。一方で自然も身近にあり、都会と地方の良さをどちらも感じられる環境でした。（20代・男性）

○　休日にはひょうたん島クルーズや阿波踊り会館を訪れ、一人では心理的に行きづらい場所にも参加できました。参加者全員で同じ体験を共有することで自然と会話が生まれ、交流を深めることができました。特に満潮時のクルーズはスリリングで、川の表情がエリアによって変わるのを楽しめたのが印象的でした。（20代・女性）









「半農半Ｘ」推進シェアハウス事業をはじめとした移住体験事業（徳島県鳴門市）

基本情報



徳島県鳴門市は、四国、徳島県の東北端に位置し、四国の東玄関口です。神戸1.5時間、大阪2時間で車移動でき、関西方面からのアクセスは四国No.1であり、東京・福岡も飛行機で1.5時間ほどです。

また、世界最大級の渦潮や全国的ブランド力のあるさつまいも「なると金時」など多くの地域資源に恵まれており、海や山など自然豊富で、釣りや散歩も楽しめる穏やかな街です。

プログラム

鳴門市では地方移住への関心の高まりを背景に、「半農半X」を新たな移住コンセプトに移住交流を促進しています。

「半農半X」推進シェアハウス事業とは、全国から希望者を募集し、鳴門教育大学職員宿舎をシェアハウスとしながら、市内農家において約2週間の農業アルバイトを体験してもらうプログラムです。

半日は農作業、残りの時間は鳴門市で暮らす魅力を知ったり、シェアハウスで暮らす隣人と交流したり、自分の将来について考えたり・・・思い思いの時間を過ごすことで、半農半Xライフを体感していただけます。

今後は他の業種でも受け入れを拡大することとしており、令和7年度には医療・介護・保育および製造業の事業所で受け入れを実施しました。

成　果

本事業の実施により、鳴門市への移住交流はもちろん、鳴門のファンづくり・関係人口の創出、さらには繁忙期における人手不足解消につなげています。

参加した方全員から鳴門市に対して好意的な印象を持っていただくことができ、受入事業者の方からも「作業が予定より早く終わり助かった」と大変喜んでいただきました。

また、これまでの参加者1名が鳴門市に移住し、特産品「鳴門らっきょ」の魅力を広めるために、鳴門市で起業し、加工品の開発に取り組んでいます。

就労内容・イベント内容

【仕事内容】
・鳴門らっきょ編：らっきょうの収穫作業、コンテナの交換作業、出荷調製作業など
・なると金時編：さつまいもの収穫・運搬・出荷調製作業など
・おとなのおしごと体験（医療・介護・保育）：療養環境の整備、ベッドシーツの交換、食事・入浴の準備、患者さんの見守り、お話し相手、子どもたちと遊ぶ、見守り、工作、お昼寝の準備と寝かしつけなどなど
・おとなのおしごと体験（製造業）：お菓子の袋詰め、検品、箱詰め、わかめの湯通し、塩蔵作業、水産加工品のスライス、盛付、梱包など
【特典】
・鳴門市内を市の職員が車で観光案内
・宿泊費無料・1人1台無料貸出の自転車を使っての通勤
・個室付きシェアハウス、家具・家電Wi-Fi付き

参加者の声

○　市役所を通しての「おてつたび」が初心者の私達には安心材料でした。実際、手厚く親切にフォローしていただいて素敵なシステムだと思いました。初めてのおてつたびが鳴門市さんで良かったです。大成功！（50代・女性）

○　農家さんには親切丁寧に作業のやり方などを教えていただき、楽しく作業に取り組むことができました。観光や飲食店などおすすめスポットも教えていただき、この2週間、とてもよくしていただいて感謝しかありません。鳴門市は温かい方が多いと思いました。

○　鳴門市に住む選択もありだなと感じました。想像していたよりも飲食店や買い物できる場所が多く、海が近く、地元の人が温かい。都会から地方暮らしをするには最適な場所ではないかと思いました。（50代・男性）

○　業務は半日なので、残りの時間は自分の仕事をしたり、釣りに行ったりしていました。また、ルームメイトと一緒にご飯を食べたり、出かけたり、後半には深い話ができてよかったです。シェアハウスという環境だからこそできたと思います。（30代・男性）









さぬき市ふるさとワーキングホリデー ～地域で暮らす、地域と暮らす ～（香川県さぬき市）

基本情報



瀬戸内海と讃岐山脈に囲まれるさぬき市は人口約4万３千人、四国遍路上がり3か寺がある結願のまちです。名勝津田の松原や江戸の奇才平賀源内の生誕地など、多彩な魅力が凝縮された地域です。

プログラム

「地域で暮らす、地域と暮らす」をコンセプトに、地域との交流を大切にしています。

ワーホリでは「誰が受け入れるのか」が最も重要であり、受入事業者や住民、運営事務局など、地域交流で出会う人々がそれぞれ魅力的であり、地域に根付いた取組を行うことで、参加者が「また、さぬき市に戻ってきたい」「あの人に会いに来たい」という想いを生み「さぬき市のファン」へと変わっていくものだと考えます。

成　果

応募者数は参加者15名に対し、２倍を上回る40名の方からの応募がありました。

【参加者数】１ターム　8/17～8/30　7名
　　２ターム　9/1～9/14　8名

実施後のアンケートから、参加した９０％以上の方がさぬき市のワーホリを「おすすめする」と回答をしており、参加者の満足度は高い結果となりました。

今後もふるさと納税や地域交流など、何かしらの形でさぬき市と関わりたいと回答した参加者の割合　⇒　１００％

就労内容・イベント内容

【業種】
農業、水産業、観光業、飲食業、宿泊業

【仕事内容】
食品加工、袋詰め、キッチンカー販売、ホールスタッフ、清掃、ベッドメイキングなど

【ホリデー内容】
地域住民も交えた歓迎会、送別会、スポーツ、海岸清掃、観光案内など

参加者の声

〇歩いてすぐ海があったり、自然がたくさんあったことがさぬき市の魅力だと思います。また、電車の本数が少なかったり旅行だけでは分からない田舎ならではの経験もできました。（21歳・女性）
〇ただ働くだけでなく、さぬき市を背負って働いているという事業者の方々の思いに触れながら、その一員として働けたことが自分の大きな経験となりました。（22歳・女性）
〇将来のお話も色々してくれて、社会人についてマイナスイメージを持っていたのが少しプラスになりました。（21歳・女性）
〇全国転勤がある企業に内定しています。配属希望に香川県を挙げるのも良いかもしれません。（21歳・男性）
〇県外の若者の視点により刺激を受けたと同時に、会社のファンになってほしいという社員の意識向上にもつながりました。（農業事業者）









人生は、自分の手でつくる。（伊予市）

基本情報

瀬戸内海に面する愛媛県伊予市は、人口およそ3.5万人で、愛媛県のほぼ中央に位置しています。
削り節やめんつゆ等の食品加工業、かんきつ類やびわ、栗、キウイの栽培が盛んで、豊かな食文化を育む、海と夕日が美しい町です。

プログラム

様々なバックグラウンドを持った人たちが、たまたま伊予市に集い、少しの間、シェアハウス等で一緒に暮らします。料理が得意な人もそうでない人も、みんなで一緒に自炊をして食卓を囲んだり。夜は星を見ながら、今日あったことや自分の悩みや将来について本音で語り合ったり。そうして伊予市が「最高の仲間」と出会えた場所になっていきます。

一緒に参加する仲間はもちろん、就労先の方や地域の人との関わりの中で、自分を見つめなおす機会にもなるかもしれません。

成　果

ふるさとワーキングホリデーに参加した若者が、その後も伊予市を再訪し、就労受入事業者の方と再会したり、地域イベントに運営スタッフとして関わってくれる方も出てきており、関係人口創出に寄与する事業として、一定の成果が出始めている。

【参加実績】
令和６年度参加者：17名
令和７年度参加者：20名　　（累計37名を受け入れ。）
○このうち、把握しているだけで15名が、のべ27回にわたって伊予市を再訪済。

就労内容・イベント内容

【業種】
農業、飲食業、小売業、観光業、製造業

【仕事内容】
農作業、接客、調理等

参加者の声

○　短い期間でしたが、伊予市は私にとって帰りたい場所」になりました。 本当に人の温かさに触れることができ、幸せな時間を過ごしました。
○　地域の方々とのふれあいを通じて、表面的な「まちづくり」の知識だけでは見えなかった、暮らしに根ざしたリアルな視点に触れることができました。
○　最初の方は慣れない点や疲れを感じる時がありましたが、数日働くにつれて業務にも慣れ始め、疲れも感じなくなっていきました。また、仕事を教えてくださった工場の皆様もとても優しく、仕事を 1 から丁寧に教えていただきました。
○　パラグライダーで絶景を見たり、1 人で海に行って今後のことを考えたり、みんなで色んな観光スポットを回ったり、どのホリデーもとても充実して楽しかったです！
○　ワーホリを運営してくださっている方々や、仕事先の皆さん、地域の方々など、どの方も親切で、外から来た自分をあたたかく迎えてくれました。またここに帰って来たいと思える素敵な場所でした。
○　美しい海が近くにある生活のすばらしさに伊予市を通して気づくことが出来ました。将来自分がどんな場所に住みたいかの選択肢が広がった気がします。







島or温泉郷でおもてなしのお仕事を （愛媛県今治市）

基本情報

今治市（いまばりし）は、愛媛県の北東部にある市です。愛媛県内で人口規模が第2位を誇り、サイクリスト聖地として有名な瀬戸内しまなみ海道の玄関口として、国内外から多数の観光客が訪れます。

プログラム

地元の人と一緒に観光業に関する仕事に従事してもらうとともに、参加者同士や移住者との交流会を開催。
いろいろな交流で島暮らし、里山暮らしの魅力を知ってもらい今治市のファンになってもらう。
都会を一歩離れ、島と里山の魅力を“働きながら”体感してみませんか？しまなみ海道の絶景と、鈍川温泉郷のやさしい里山で、地域の人々と出会い、つながり、自分の“次のステップ”が見つかる2週間。8名限定の実践型プログラムです。

成　果

令和7年度に始めたばかりのふるさとワーキングホリデーですが、参加した方々が今治市に興味を持ち、後に本事業以外でも訪れてくれました。
本事業が関係人口の拡大に寄与していくものであると考えております。参加者同士の交流や地域の人との関りなどを通じ、体験が充実したものとなり、参加者と地域に相乗効果を生み出していくように継続して事業を進めていきます。

【参加実績（令和7年度末見込み）】
参加者：8名　　リピーター：4名　（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に今治市を訪れた人数

就労内容・イベント内容

【業種】
農業、宿泊業、観光業

【仕事内容】
野菜収穫、観光物産販売、旅館業務、観光案内業

【ホリデー内容】
観光案内、移住者との交流会、地元事業所訪問、ふりかえりWS等

参加者の声

〇とても楽しく充実した時間を過ごすことが出来、今回のプログラムに協力していただいた方々に感謝しています。おかげさまであっという間の2週間でした。今回が1回目のワーキングホリデーということで、分からない事ばかりの中、それでも私たち参加者のより良い経験のために力を尽くして頂いたと強く感じております。今回の私たちのプログラムを終え、来年度以降のワーキングホリデーがより良いものになることを願っています。本当にありがとうございました。
〇4日の地域で頑張る方とガンガン会うのは、いっぱいになったけどすごくためになりました。時間が許すならこのまま続けて欲しいです。BBQ参加はすごく仲良くなれるし、今年と同等(1週に1回)くらいで色んな人を巻き込んでやって欲しい。
〇参加者の満足度は非常に高いプログラムだと思った反面、受け入れ先の事業者様の負担が大きいプログラムだと思いました。その辺りを改善できると良いのかなと思います。









松野町ふるさとワーキングホリデー（松野町）

基本情報

愛媛県内最小自治体でありながら、多くの観光資源を持つまち

松野町は、四国南西部、四万十川支流域にある、総人口約3800名の愛媛県内でもっとも小さな自治体です。しかしながら、国立公園滑床渓谷をはじめ、多くの観光資源を有しています。森林が全面積の84パーセントを占めることから、「森の国」として愛媛県内で一定のブランド価値を有しており、それに伴った様々な商品開発なども行っています。

プログラム

この森にあそび　この森に学びて　あめつちの心に近づかむ

この言葉は松野町のテーマとなっています。
豊かな自然と共存し、時には自然を存分に楽しみ、時にはそこにある暮らしや文化を学ぶ。
また、地元の人々との関わり、一緒に働く仲間との関わりの中で、松野町は色々な気付きを与えてくれます。
松野町ふるさとワーキングホリデーはそんな「森の国」を五感で感じることができるプログラムとなっています。

成　果

令和7年度実績：16名

過去の受入れ者の中には、松野町での体験をきっかけに移住を決意し、現在も町内の観光施設で働いている方もいます。その他、地域住民や地域おこし協力隊などとのつながりができ、県内外での関係人口の増加にも寄与しています。

就労内容・イベント内容

滑床渓谷でのキャニオニングガイド

仕事内容：キャニオニング体験者に対する指導や記録（写真・動画撮影）に関する業務を行ってもらいます。

キャニオニングはフランス生まれのリバースポーツで、滝壺に飛び込んだり、滝を登ったり、下ったり、体1つで渓谷を滑り降りる遊びです。全国的に幅広く行われているラフティングと違い、参加者自らの足で移動し、それぞれのポイントを楽しむのが特徴です。

参加者の声

○得られた体験・発見が自分の性格と向き合える、すごくいい時間になった。

○仕事内容は、キャニオニングのインストラクターとして様々な人を楽しませるお仕事でした。未経験でしたが、先輩スタッフの方々に丁寧に指導していただき、早い段階で仕事に慣れることができました。また、スタッフ同士が仲が良く、プライベートも大変充実しておりました。松野町の温泉や夏祭りに行ったり、宇和島のボルダリングに行ったり、時には休みを合わせて登山もしました。

○仕事内容はキャニオニングとラフティングのガイド、写真撮影や宿泊施設の掃除など多岐にわたりましたが、どれも楽しく勉強になることばかりでした。
素晴らしいのはオーナー、スタッフさんの気遣いです。
猛暑での仕事でも元気に楽しく教えてもらい、ONもOFFも常にアットホームな雰囲気づくりは大変ありがたく、自分から何かできることはないかと積極的に思わせてくれます。

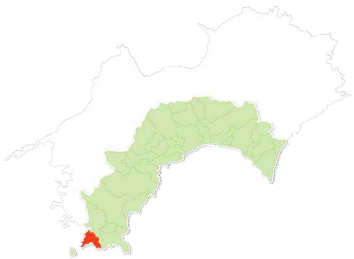






～大月町と出会い、働き、暮らす体験～（高知県大月町）

基本情報



高知県大月町は、人口およそ4200人、高知県西南端の町です。
＜3つの特徴＞
①海の透明度が非常に高く、ダイビングや釣りのスポットとしても有名！
②県内で唯一のマグロ養殖場があり、出荷量は全国トップクラス！
③地元の食材が並ぶ道の駅。新鮮さと品揃えの豊富さには自信あり！

プログラム

「大月町と出会い、働き、暮らす体験」をテーマに、町内7事業者にてふるさとワーキングホリデーを実施。
就業体験だけでなく、地域との交流や暮らしの体験も重視した。

【本町独自の取り組み】
・地域イベント（祭り、移住者交流会等）への参加案内
・空き家、お試し滞在住宅の見学案内
・先輩移住者や地域住民との交流機会の創出

参加者が「働く」だけでなく、「地域とのつながり」や「暮らし」を具体的にイメージできるプログラムとした。

成　果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者等が大月町に興味を持ち、後に本事業以外でも訪れる方もいる。
本事業が関係人口の拡大に寄与しているものであり、参加する学生間の交流や地域の人との関りなどを通じ、体験が充実したものとなり、参加者と地域に相乗効果を生み出している。

【参加実績】（令和6～7年度）】
参加者：15名（令和6年度　9名・令和7年度6名）
リピーター：1名

就労内容･イベント内容

【業種】
観光業、農業、地域振興事業、宿泊業、飲食業

【仕事内容】
マリンアクティビティサービス、グランピング・キャンプ場運営、みかん農家、特産品の開発・製造、宿泊施設・飲食店運営

【ホリデー内容】
マリンアクティビティサービス補助、施設運営補助、みかんの収穫・摘果作業、さつまいもの皮むき作業など

参加者の声

〇旅行とは違って現地のスーパーなどコミュニティーに溶け込むことができて楽しかったです。経営されている方の理念がとても素敵で、みんなで協力して仕事に取り組む姿が印象的でした。食べ物がおいしく、空気もよく、家族ができたら暮らしてみたいなと思いました。（20代女性）

〇生活することで町の風土を肌で感じることができました。仕事も質問したことに丁寧に答えていただき、休憩中での談話など積極的に声をかけてくれました。普段見ない虫や動物、きれいな海、おいしい食べ物どれもよい経験、思い出となりました。セカンドライフを過ごすのにちょうどよいと思いました。（20代男性）

〇前年に参加した時の町の印象が良かったので、今年も参加しました。仕事なのにとてもリラックスして楽しく働けました。町の雰囲気、土地、食べ物、人、すべてよかったです。条件に合う空き家が見つかったら借りたいと前向きに考えています。（40代女性）











高知市でワーキングホリデー ～観光以上、移住未満のぼっちりな２週間～（高知県高知市）

基本情報



高知県の県都・高知市は、北に山地があり、南には太平洋を臨む、自然に恵まれた都市です。温暖（年平均16・8℃）で、年間日照時間、年間降水量とも全国トップクラス。

高知市には気候や風土に根差した食の恵みが、年間を通してあります。

プログラム

高知市で「仕事と暮らし」を体験しながら、高知の文化・自然・食・人を全力で楽しめる、特別な2週間！

移住を考えているけれど実際の生活がどうなのか気になる方や、将来の仕事に役立つ経験を積みたい方にぴったり。

日常の忙しさから離れ、自然豊かな高知市での新しい生活を肌で感じる内容です。

具体的な就労内容として、クラフトビール製造や飲食業に加え、アニメーション制作、放送局での番組アシスタント、プロ野球球団の運営スタッフといった、若者の関心が高い「都市型・クリエイティブ職種」を幅広く提供したことが最大の特徴です。

成　果

令和7年度は21名の応募から選抜された7名が参加しました。参加者からは、地方での専門的就業や多様な地域体験に対し高い評価を得ています。労働力確保に留まらず、若者のキャリア形成を重視した結果、初年度ながら参加者の約3割（2名）が移住検討に至る質の高い成果を収めました。

本事業は、都市圏の人材に高知市での就業・生活の具体的イメージを提示するプラットフォームとして機能しています。

就労内容・イベント内容

【業種】
製造業、アニメーション制作業、飲食業、情報通信業、プロスポーツ興行団体

【仕事内容】
クラフトビール製造、アニメ制作、接客アナウンス、テレビ局アシスタント、プロ野球球団運営スタッフ

【ホリデー内容】
・移住者交流会（トマト収穫・青のり養殖現場の見学・地域住民とのランチ交流など）
・休日は参加者各自で自由に観光（例：四国周遊・植物園観光、美術館鑑賞など）

参加者の声

○ 多くのふるさとワーキングホリデーの就労内容が農産物の収穫体験などの農業系が多い中、高知市は、放送局やアニメスタジオなど、他市町村と比べると異色の就労体験が可能な点に惹かれました。就労先が放送局ということで、記者の方々の取材に同行したり、夕方の情報番組でADやフロアのお仕事を手伝わせてもらいました。取材同行の際は、高知市内・県内の様々な場所に足を運ぶことができて、楽しかったです。（20代女性）

○ 球団職員として、広報・グッズの企画・梱包、試合会場での運営補助（キッズスクールやイベント出店など）といった業務に従事しました。今回の就労を通して、選手や観客が試合に集中できる環境を支えていることを実感しました。野球好きとして活かせる場面もあり、とても楽しく働けました。（20代女性）

○ 多くの来場者が快適に利用できるよう市場の運営を支える仕事に携われた点です。特にインフォメーションで対応した際に「ありがとう」と感謝の言葉をいただいたことが印象に残っています。（20代男性）











山と川と海の町でワーキングホリデー（東洋町）

基本情報



高知県東洋町は人口およそ2,000人。高知県の東端で、徳島県との県境にある小さな田舎町。
山、川、海が揃い、「生見サーフィンビーチ」はサーファーの聖地として、年間多くのサーフィン客が訪れる。

プログラム

現在まで、以下の募集を行ったことがある。
①ポンカン農家での収穫作業
②白浜海水浴場での海上アスレチック運営
③ホテルでのスタッフ
④オーガニックトマト農家での栽培作業

最短２週間～最長２ヶ月滞在可能で、町から宿泊費の補助もあり。（3,300円／１日×30日までが上限）

日常では体験できない仕事で地元の人や様々な人と関わりたいと思っている人や、移住する前に田舎での暮らしを体験したい人にとっても適したプログラムとなっている。

成　果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、移住した人もいる。また、複数回参加してくれている参加者もいる。
参加者や地域の人や学生などの関り、また参加者同士でも交流を図り、体験が充実したものとなっている。

【参加実績（2021～2026年３月末）】
参加者：**79**名　　移住者：**2**名

就労内容･イベント内容

【業種】
農業、観光業、宿泊業
【仕事内容】
ポンカン農家での収穫・選別・出荷作業、海水浴場で海上アスレチックの運営、ホテルのスタッフ、トマト農家での収穫・栽培作業

参加者の声

○　勉強になった。（20代男性）

○　地元の人や帰省中の大学生などと働けて良い経験となった。（20代男性）

○　東洋町にいる間に周辺の市町村も回れて、高知が好きになった。（20代女性）

○　自然が豊かで海がきれい。（20代男性）

○　農業の大変さがわかった。（20代男性）





須崎市ふるさとワーキングホリデー（高知県須崎市）

基本情報



高知県須崎市は、高知県海岸線のほぼ中央に位置した人口およそ2万人のまちです。豊かな海と温暖な気候に恵まれており、漁業では沿岸漁業とカンパチ、鯛などの養殖漁業、農業では、生産量日本一を誇るミョウガをはじめハウス園芸や土佐文旦やポンカンなどの柑橘類の栽培が盛んです。

プログラム

このプログラムの特徴

① 移住者交流会や地元の人とのコミュニケーションを通して、須崎市の「人」を知り、つながる。

② 興味のある地域の仕事を体験してもらい、地域の暮らしを具体的にイメージする。

成 果

短期間の滞在ではあるが、移住交流会や地域のイベントなど、移住者や地域住民との交流の場に参加してもらうことにより、地元の人たちと親交を深めてもらうことができている。
まだ、実績として移住者には結びついていないものの、須崎市の魅力を体感することで、関係人口の拡大にはつながっている。

【参加実績（2021～2026年2月末）】

参加者：12名　　リピーター：**1**名　移住者：**0**名

就労内容･イベント内容

（製造業）醤油製造事業所における醤油の充填・ラベル張り・出荷準備を中心とした業務

（サービス業）まちかどギャラリーの運営補助業務、情報発信、イベント等の補助業務

参加者の声

○　すさきまちかどギャラリー業務のお手伝いを通して、ギャラリーの魅力や須崎市の魅力を肌で感じることができた。
「ギャラリーの魅力」として特に大きく感じたことは、様々な人の結節点として愛された場所であることがあげられる。
観光客にとっては「無料で文化財を見学できる場所」、地元の方にとっては「気軽に立ち寄れる場所」などとして親しまれている。
また「すれ違う人の多くがあいさつしてくれる」という体験から、地域の人の温かさを感じ、「須崎をまた訪れたい」と思わせてくれるような体験となった。（20代女性）

○　作業させていただいたのは、醤油の充填・ラベル張り・出荷準備が中心でしたが、すべてが手作業で本当に驚いた。滞在中は自転車での移動だったため、住民の方とお話しする機会があり、近所にお住まいの方ともお友達になることができた。せっかくお繋ぎいただいたご縁ですので、今後もお手伝いに行くことができればと思っている。（30代女性）









小さくても元気で輝く村で過ごす、ゆるやかな時間　（高知県芸西村）

基本情報



高知県芸西村は、人口およそ3,600人弱、高知県東部の玄関口の村です。北は山、南は太平洋に面し、温暖な気候や長い日照時間を利用し、ピーマン、ナスや花卉園芸など、昔から施設園芸が盛んな村です。

プログラム

　このプログラムの特徴
①　芸西村で想いをもってはたらき、暮らしをしている「ひと」と出会う。
②　日常では体験できない就業企業で、体を動かしてみる、地元の人とコミュニケーションをとってみる。
③　静かでゆったりとした時間の中で、そこに息づく歴史や食、文化を感じてみる。

成　果

　ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した者が芸西村に興味を持ち、後に本事業以外でも訪れる方もいる。本事業が関係人口に寄与しているものであり、参加者同士の交流や地域の人との関りなどを通じ、体験が充実したものとなり、参加者と地域に相乗効果を生み出している。

【参加実績（2023年～2025年12月末）】

参加者：6名　リピーター：1名（※）

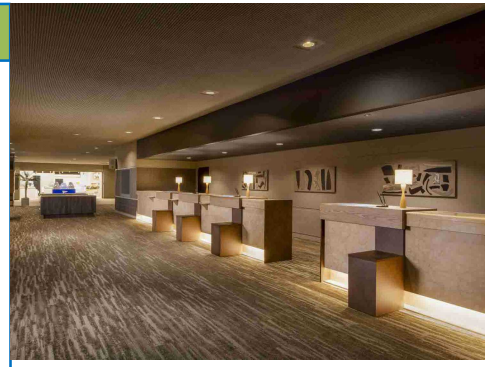
（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に再度、芸西村を訪れた人数

就労内容・イベント内容

【業種】
宿泊業

【仕事内容】
　客室清掃・ベッドメイキング・フロント

【イベント】
竹灯りの宵（10月下旬頃）、みのりの王国芸西フェスタ（11月中旬）、カシオワールドオープン（11月下旬）などのイベントが例年開催されています。



参加者の声

〇芸西村は地元にお住まいの皆様が認識されているより何倍もワクワクする刺激的な自然や素晴らしいロケーションに恵まれています。
（30代男性）

〇地元の方々とのふれあいや地域探訪ができ、高知県が今まで以上に身近に感じられるようになりました。同じ日本でも、普段の生活圏から離れると、環境や言葉や食べ物のが違い、新しい発見があり素晴らしい経験ができました。
（30代男性）





海、果物、観光、人、経験。あなたのスキをすくもで探そう
（高知県宿毛市）

基本情報

四国西南端に位置する宿毛市は、人口約1万8千人ほどの自然豊かな街です。
1年を通して温暖な気候で過ごしやすく山、川、海、島が揃い、自然の中でのサイクリングや、川遊び、透明度の高い海での釣りやスキューバダイビングなどのアクティビティを楽しむこともできます。
飲食店も多く、特産品の柑橘類は、全国展開の商品としても採用されています。

プログラム

宿毛市の仕事とローカルライフを経験できる場づくりを行います。

宿毛市にいる間、地域の方や他事業所でふるさとワーホリに参加している参加者とも一緒に交流できる場をつくります。一緒に海山川の恵みの美味しい食も味わいましょう。

仕事が休みの日は街のイベントにもご案内します！

成　果

移住候補地として検討中の参加者がいて、もう一度ふるさとワーホリを通して再訪希望者や、実際に事業者と雇用についての調整を始めている参加者もいる。
また、ふるさとワーキングホリデーをとおして宿毛市で体験したこと、感じたことをSNSやnote、ZINEなどの制作物にて発表（数名）することで、周辺に対して一定の広報成果があった。

【7年度参加者：29名】

就労内容・イベント内容

【業種】
農業、水産業、観光サービス業

【仕事内容】
柑橘収穫・出荷作業、水産物収穫・出荷作業、イベント企画、観光案内・観光に係る制作物作成作業

【ホリデー内容】
観光案内、ものづくりWS、交流会（お食事会）



参加者の声

・宿毛市は、気候も水も食べ物も自分に合ってることを実感して、移住候補地の中でもとても好きな場所になりました。倉庫やJA選果場の勤務は大変ながらも思いやりや気遣いを感じ、やりがいがあるものでした。就業先の皆さまとも仲良くなれた気がして、仕事で信頼を得られるよう頑張ってよかったと感じています。(30代女性)



・働くことだけでなく、人や町の空気に触れることができ、とても貴重な経験になりました。
関わった人たちが、私の夢やこれからやりたいことを自然に応援してくれた。大きな観光資源よりも、そういう空気のほうが、あとからじわじわ効いてくる。派手さはないけれど、静かに記憶に残る町でした。（20代女性）

・自然がのんびりゆたかで、人がとてもあたたかい。人が人に興味をもって対話が自然にあって居心地がよかったです。心地よいコミュニケーションをとりながら、そして宿毛市の魅力を探しながらイベント企画の仕事ができたことは、本当に恵まれていました。やりたいことが期待以上によいかたちで実現できました。ここまで地域に密着できたワーキングホリデーは少ないと思います。宿毛市に来て仕事ができて、最高でした！（40代女性）



350人の村が、あなたの “ふるさと” になる2週間（高知県大川村）

基本情報

高知県大川村は、四国のほぼ中央に位置する、人口約３５０人の村です。周囲を1,000m級の山々に囲まれ、昔ながらの自然が多く残る、ここに住む人々が一番魅力の村です。村の中央を流れる吉野川、四国の水瓶「早明浦ダム」の水源地域として、自然環境の保護・水資源の確保にも努めています。
「人口400人の維持」を目標に、小さくとも活力ある「適疎の村づくり」の実現に向けて力強く歩んでいます。

プログラム

350人の村のリアルに触れ、活性化について考え取り組める。
あたたかい地域のプレイヤー・村人と交流し、第2のふるさとができる。
大川村ならではの経験と、地域PRの体験ができる。

高知県大川村で素晴らしい出会いと発見を！
あたたかな「人」と繋がり、未来へ繋げる体験を！

成　果

　大川村が実施した初めての「ふるさとワーキングホリデー」。受入事業者の発掘からプログラム構築をゼロから行い、参加者が主体性をもって地域について考える内容とすることができた。
　参加者満足度が高い方の割合が多く、今後も関係を持ちたいという回答が多かったため、総じて良い結果であったと言える。
　本事業をきっかけに、参加した若者等が大川村に興味を持ち、大川村の魅力を複数の視点で感じとり、現地での感動、発見の共有が生まれたほか、就労先や地域プレイヤーとの繋がりにより、大川村再訪の動機を創出できた。

【参加実績（令和７年度末）】

参加者：６名　　リピーター：**0**名（※）　移住者：**0**名

（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に大川村を訪れた延べ人数

うち令和７年度参加者：0名

就労内容・イベント内容

【業種】
農業
畜産業

【仕事内容】
花卉栽培（植え付け、収穫、出荷等）
食鳥処理、加工処理

【ホリデー内容】
観光、ものつくり体験、自然体験、地域散策、登山、地域行事・イベント参加、地域グルメ、ふりかえり等

参加者の声

●明るく地域の絆が想像をはるかに超えていて、うらやましいと思いました。大川小中学校の子供さん、すばらしい発表をして、見ていてわくわく楽しかったです。大川村は、みなさんが主役でとても元気でした。（40代女性）

●BBQでいただいた大川村の黒牛と土佐はちきん地鶏はとても美味しく、遊覧船から観た大川村の大自然はとても美しかったです。（30代女性）

●参加前は、高齢化が進んでいて子どもがほとんどいない地域というイメージをもっていた。参加後は、村の方々みんなが親戚のようで、子どもから高齢の方々まで全員が顔見知りの安心感のある村という印象をもった。（20代女性）

●村の人と関わるイメージがあまりなかったが、参加した際にバーベキューや村の交流会にお誘いしていただき村の人全体が家族のようなイメージに変わった。（20代男性）







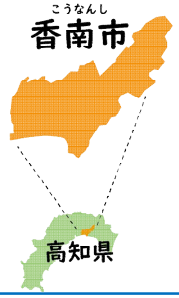
スケジュール(予定)

	11/1(土)	11/2(日)	11/3(月/祝)	11/4(火)	11/5(水)	11/6(木)	11/7(金)	11/8(土)	11/9(日)	11/10(月)	11/11(火)	11/12(水)	11/13(木)	11/14(金)
AM	移動・集合	謝肉祭準備	謝肉祭当日	FREE	WORK	WORK	WORK	大川村を知るツアー	産業文化祭	WORK	WORK	WORK	FREE	発表会
PM	オリエン	FREE	交流会					FREE		ふるさとまつり お手伝い	ふるさとまつり お手伝い	ふるさとまつり お手伝い	交流会	解散

※就労時間は、就業先によって異なります。
※FREEの日も、事務局スタッフが周辺情報の提供や送迎等をサポートします
※スケジュールは状況により変更となる場合がございます。

水・緑・風が輝く豊かな暮らしと産業で飛躍するまち　（高知県香南市）

基本情報



香南市は、高知県の中心からやや東にある人口が約３万人の市です。香南市は海と山と川がある町でほどよい自然とほどよい商業施設のある、ちょっといなか「ちょいなか」なまちです。

プログラム

県外の若者などが一定期間香南市に滞在し、働きながら地域住民との交流を通じて、香南市の暮らしを体験することで、将来的な香南市への移住の掘り起こしを図る。



成　果

ふるさとワーキングホリデーに参加し、滞在期間中に香南市のいろんな場所を訪問し、仕事をしながら香南暮らしを体験していただいた。前回参加したので、２回目の参加も可能か問い合わせをされた方もおられた。

【参加実績（平成31～令和７年度）】

参加者：32名　移住者：1名

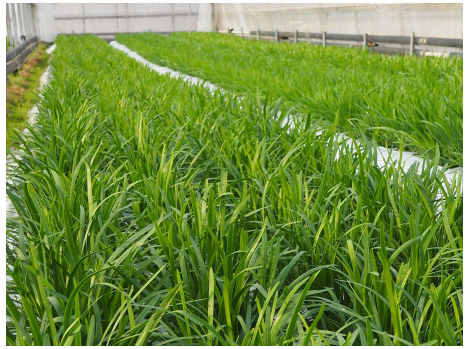
うち令和7年度参加者：10名

就労内容・イベント内容

【業種】
農業、販売、飲食業

【仕事内容】
米・野菜・果物収穫、選果・梱包作業
醸造作業、ショップ販売補助

【ホリデー内容】
観光紹介（交通費補助対象）



参加者の声

〇参加するまで、詳しく知らなかった地域でしたが、参加して農園の方に案内していただいたりして自然あふれる素敵な地域でした。さつま芋の収穫やその後の作業を体験したり観光も楽しかったです。(20代女性)

〇参加できて、本当に良かったです。事業所の方が街のことについてたくさん教えてくれて、離れたくないと思うほど好きになりました。
1週間でしたが、香南市のことを知るいい機会となりました。また来年とは言わず、旅行でも行きたいと思いました。(20代女性)

〇大学の生活中に様々な経験をしたいので応募しました。みかんの収穫や袋詰めなどの作業をしたり、たくさんの方からお話を聞くことができました。休日も日曜市で地域の方とお話ししたり、アーケード内でのイベントにも参加できすごく貴重な経験でした。(20代男性)





人手不足解消と村のファンを作る～参加者と事業者のwinwinな関係を～（高知県馬路村）

基本情報



高知県馬路村は、人口およそ800人、高知県東部の山間地域。
村の96%が森林でその大半が県木であるやなせ杉に囲まれた自然豊かな村。「柚子の村」としても全国に知られ、ぽん酢しょうゆやゆずドリンクなどが都市圏でも流通しています。

プログラム

＼人手不足解消と村のファンを作る／
人口７００人台の馬路村。ゆず産業で全国にも知られる村ですが、担い手不足は長年の課題。その課題解決のためにワーキングホリデー事業を始めて１０年目を迎えます。
＼村に来てみてわかること／
ワーキングホリデー中に、しごとと暮らしを体験することで、村暮らしのイメージができること。農家さんや村で暮らす若者との交流もあり、村のファンにつながっています。不便でも意外と暮らせる！との声も！

成　果

ふるさとワーキングホリデーをきっかけに、参加した若者が馬路村に興味を持ち、後に訪れる方もいる。
観光、ふるさと納税、馬路村特別村民への登録、馬路村役場・農協などのSNSのフォロー、ワーホリ中の画像提供をしていただき今後のHP等への掲載に活用、大学卒業論文ために再来訪、移住フェアの参加、地域住民との継続的交流などワーキングホリデーの枠を超えた関係人口の拡大につながっている。
近年は、リピーターや友人を連れて参加するなど、参加後にも村とつながる方が増加している。
【参加実績（平成29年～令和８年3月末）】
参加者：**１４０名**
リピーター：**１８名**（※）　移住者：**６名**
（※）ふるさとワーキングホリデー参加後に、馬路村を訪れた人数



就労内容･イベント内容

【業種】①農業
②飲食業、宿泊業
③観光業、キャンプ場運営
④教育
【仕事内容】①ゆず収穫・搾汁作業
②レストランホール補助
③キャンプ場清掃・薪割り等
④夏休み中の小学生の見守り
【イベント】村内イベントとして、森林間伐体験やゆず絞り体験、料理教室、お花見や交流会などを実施。ワーキングホリデー中に希望者には移住相談も受けた。

参加者の声

○迷っているなら絶対に参加したほうがいいです！ここでの2週間の経験はなにものにも代え難い経験になります。何より個性豊かなメンバーに出会うと虜になると思います。ぜひ、ワーホリへ！
（20代　女性）
○馬路村の歴史や自然、村民方達や他のワーホリさんとの交流、馬路村でしか味わえない魅力が沢山詰まった濃い内容になってます。自然の魅力を肌で感じ取れ人とのふれあいで心も暖まる最高のワーホリです。（30代　女性）
○とても穏やかな馬路村で、朝目覚めて、太陽の下で柚子を収穫して、農家さんや仲間と楽しくおはなしして、しっかりと疲れて、ご飯をもりもり食べて、ゆっくりと眠る。とっても心地よい暮らしをワーキングホリデーですることができました！
（20代　女性）





【ゆずの収穫】

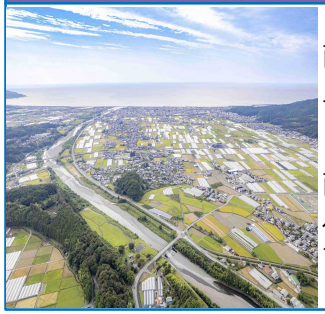

【馬路温泉】


【キャンプ場の運営】


【こども教室見守り員】

日本一のゆず産地を体感！（高知県安芸市）

基本情報



高知県東部に位置する安芸市は、太平洋に面した温暖な気候と、豊かな自然、そして歴史と文化が調和するまちです。
日本一の生産量を誇る「なす」や香り高い「ゆず」といった特産品に加え、江戸時代の面影を残す武家屋敷「土居廓中」、三菱グループを創業した岩崎彌太郎の出身地、阪神タイガースのキャンプ地としても知られるなど、多彩な魅力を持っています。

プログラム

「日本一のゆずの香りに包まれ、地域の温かさに触れる。」
安芸市のワーホリは、日本一のゆずの産地を、見て、香って、体感して、知ること。
地元の人たちと一緒に汗を流して収穫に打ち込んでみること。

作業の合間に交わす何気ない会話や、地域の方々、そして共に活動する「ゆずとり援農隊」の大学生たちと食卓を囲んで語り合うこと。澄み渡る土佐の青空を見上げたり、歴史ある町並みを歩いたりしながら、中山間地域の暮らしの知恵に触れること。

そんな、豊かで「非日常な日常」を過ごす、2週間から1ヶ月。
安芸市は、きっとあなたの「もうひとつのふるさと」になる。

成　果

基幹産業の維持発展：深刻な人手不足に悩むゆず収穫繁忙期において、県外からの参加者が「貴重な戦力」として労働力確保に貢献。

地域への愛着の醸成：住民や学生との交流プログラムを通じて参加者の満足度は非常に高く、安芸市を「将来的に再訪したい場所」と位置づけるような、深い愛着を育む土台が築かれている。

実際の就業と生活を体感することで、参加者が中山間地域での暮らしを具体的にイメージし、将来的な移住を検討するための重要な入り口となっている。
【参加実績】R7年度参加者　1名

就労内容・イベント内容

【業種】農業

【仕事内容】ゆずの収穫、選果、出荷など

【ホリデー内容】
交流イベント、伝統文化に触れる、「東風ノ家（こちのや）」を起点に、自分だけの安芸市を体験

参加者の声

○『働きながら旅ができる』という動機で参加しましたが、実際に体験した毎日は期待以上のものでした。

日本一の産地で、採れたてのゆずの香りに包まれて働くのは本当に気持ちが良く、ゆずがどの家庭でも当たり前のようにある生活風景も新鮮な発見でした。

繁忙期ということもあり、私が『地域の貴重な戦力』として温かく迎え入れられていることを肌で感じることができました。

一番心に残っているのは、地域の方々との深い交流です。赤野地区の獅子舞などの伝統文化に触れたり、ゆず農家さんたちと地域の未来について語り合ったりした時間は、私にとってかけがえのない宝物です。

予定になかった送迎まで毎日してくださるなど、皆さんの優しさに触れる中で、自分の生き方や働き方を見直すきっかけになりました。

安芸市での経験は、自分の適性を再発見する機会にもなり、今は『また必ずこの街を訪れたい』という特別な場所になりました。（30代女性）

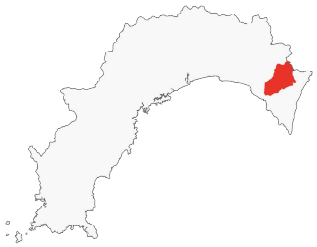






ゆずの里でワーホリ　～ゆずとハーブの香りで癒される～（高知県北川村）

基本情報



高知県北川村は、高知県東部の人口1200人の小さな村です。古くよりゆずの産地で生産量は全国でもトップクラスです。日本で初めてヨーロッパに青果を輸出するなど、良質なゆずを生産しています。

プログラム

このプログラムの特徴は
①北川村が一年のうちで最も活気づく、ゆずの収穫期を迎える11月、村全体がさわやかなゆずの香りに包まれる季節に、ゆず収穫の作業に従事してもらいます。
②北川村温泉「ゆずの宿」で客室・浴場の清掃、食事の提供・接客フロント業務などに従事してもらいます。
また、世界で唯一モネの庭を名乗ることを許された、北川村「モネの庭」マルモッタンの、普段はやっていないハーブを使ったタッジーマージ作りが体験できます。

成　果

ふるさとワーキングホリデーがゆずの収穫という楽しい作業であったため、ゆず栽培（農業）に対してより良いイメージを持ってもらえた。
北川村のゆずに興味を持ってもらい、都内で北川村産を選ぶようになったりと、関係人口及び消費拡大につながった。また、ゆずの収穫期（繁忙期）の人手不足の対策となった。
また、北川村温泉では、年末年始の繁忙期の人手不足の対策につながった。

参加実績【R7　4名】

就労内容･イベント内容

【就労内容】
ゆず収穫の作業
ゆずの選別、出荷作業
【交流イベント】
北川村「モネの庭」マルモッタンの、庭師によるハーブを使ったタッジーマージ作り体験。

【就労内容】
客室・浴場の清掃
食事の提供・接客フロント業務



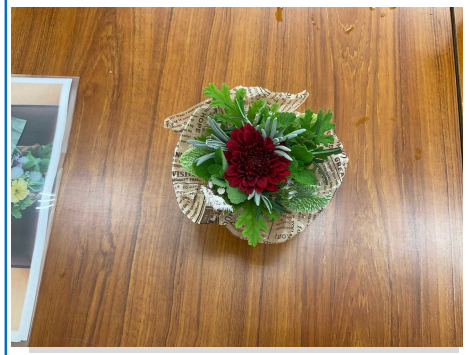
参加者の声

〇香りが好きな柚子の収穫。村の方はみなさん優しく、人の温かさを感じました。収穫のお手伝いをしに来ていた県外の方とも交流しながら、収穫することができました。柚子にこんなに棘があるんだ、脚立に乗りながらで、取りにくいところもあるんだなと初めて知ることだらけで、最後の日までとても楽しかったです。こんなにも山に囲まれたことがなかったので、毎日景色に感動しました。星空も本当にきれいで、参加して本当に良い経験になったと思います。（20代女性）



〇温暖な気候、食べ物のおいしさ、とくに柚子のすばらしさに感心しました。空気は山の中で、澄んできれいですし、景色はすばらしいです。慣れない仕事ですが、たくさんの笑顔のお客様をみれて、とてもうれしい毎日でした。ワーキングホリデーという素晴らしい制度にとても感謝しています。
（40代女性）





島で働き、学び、遊ぶ　沖永良部島ふるさとワーキングホリデー（鹿児島県知名町）

基本情報

鹿児島県大島郡知名町は、東シナ海に浮かぶ沖永良部島の西部に位置する、人口約5,000人の町。鹿児島市から南西約552km、年間平均気温22℃の温暖な亜熱帯気候が広がります。

隆起サンゴ礁でできた島には大小300以上の洞窟・鍾乳洞が存在し、国内最大級のフローストーンを誇る天然記念物「昇竜洞」、奄美十景に選ばれた断崖絶壁「田皆岬」など唯一無二の景観を有する「花と洞窟の島」です。

農業（テッポウユリ・ジャガイモ・サトウキビ等）を基幹産業とし、スーパー・病院・学校など生活インフラも整う暮らしやすい環境があります。

何より島んちゅ（島民）の人柄の温かさと地域のつながりの深さが、知名町最大の魅力です！

プログラム

【島内プログラム　2週間の過ごし方（例）】

1日目　　移動・来島 ／ 歓迎会
（島んちゅ・受入事業者・関係機関と島の食事で交流）

2～13日目　就労体験・島暮らし体験
（ケイビングや釣り、三線教室などを体験できます。）

最終日　　送迎会・移動

プログラムの概要は知名町のホームページをご確認ください！
https://www.town.china.lg.jp/soshiki/1002/hurusato_work/2953.html

成　果

【令和７年度　参加実績】
参加者数：15名　受入事業者数：7社
（うち大学生13名・社会人2名　男性10名・女性5名）
参加者年代：19～28歳（20代中心）　来島前経験：全員初めて

【参加者アンケート結果】
・全体満足度　：4.93 / 5　　・三味線教室　：5.00 / 5
・推薦度　　：9.8 / 10　　・就労体験　　：4.87 / 5

【参加後の関係継続】
LINEオープンチャット「えらぶに行こう！」で継続交流。
「再訪したい」「友人・後輩に勧めたい」という声が多数あり。
全国にある沖永良部島の郷土会へ参加したり、物産展へ参加したりと、継続的な関係人口の創出が進んでいる。

就労内容・イベント内容

【業　種】
農業・飲食業・建設業　等

【就労内容】
・ジャガイモの収穫をはじめとした農作業
・イベントや飲食店での食事の提供
・簡単な土木・建設作業

【ホリデー内容】
・歓迎会・送別会：島の郷土料理と島んちゅとの夕食交流
・三味線教室：伝統楽器である「三線」を習い最終日に発表会
・島内の名所・ビーチへの自由散策
・釣りやケイビングなど各種観光プログラムの体験

参加者の声

○「今回島の本当の良さは人にあることも知ることができました。就労先で良くしてくださる農家さんはもちろん、帰り際に”私の娘みたい”と言ってくださったおばあちゃんに泣きそうになりました。私の新たな第二の故郷ができたと思えたし、絶対にまた皆さんに会いに行きたいです。」（21歳・女性）

○「芋掘り中、ふと顔をあげたときに見える海と、気持ちの良い風の感覚が印象に残った。無心で芋を掘る時間は気持ちのリセットになった。農業は安定収入のサラリーマンというイメージだったが、事業者さんが楽しそうに試行錯誤の話をしていて、夢のある職業だと思った。」（21歳・男性）

○「思っていたよりも過ごしやすい環境だと感じ、いま住んでいるところで何年か働いたら、その後は沖永良部島で働くのも楽しそうだと思いました。」（19歳・女性）

○「島のイメージは静かなイメージでしたがそんなことなくみんなが生き生きと生活している姿に心踊らされました。２週間という短い間でしたが、島のリアルを体験することができて本当に楽しかったです！素晴らしい仲間、場所を提供してくださった皆さんに感謝しています！」（22歳・男性）



募集チラシ



三線発表の様子



ジャガイモの収穫作業

沖縄でプチ移住生活してみませんか？（沖縄県　R7）

基本情報

冬でも10℃を下回らないほど温暖で過ごしやすい沖縄。沖縄県ふるさとワーキングホリデーは、沖縄県の離島・過疎地域市町村の北から南まで11市町村・41事業者で幅広く展開しています。自然を満喫できるのはもちろん、昔ながらの文化や風習が色濃く残る本島北部・離島地域では、地域の温かい歓迎を受けるのも魅力。



プログラム

沖縄県内の事業者と雇用契約を結び、一定期間（15日～30日)収入を得ながら滞在し、沖縄の自然や文化に触れながら、交流や暮らしを体験します。

・滞在費補助(1泊4,000円上限)
・レンタカー代補助
・体験プログラムの参加費一部補助
・地域ナビゲーターが滞在をサポート

成　果

参加者：244名　移住者：**49**名
【参加者実績は2018年～2026年3月末までの見込み含む】

事業者が参加者の給与を負担する仕組みのため、慎重に採用を決めることによって事業者側が求める人材とマッチングしやすくなり、移住に繋がった。就職せずとも、繁忙期に戻ってくる「リピート就業」が各事業所で生まれている。自治体の協力も得ながら長期滞在できる宿泊施設を確保することや、地域ナビゲーターによるサポートも参加者には好評となっている。参加者と事業者や地域の関係が深くなるための様々な工夫により相乗効果が生まれ、移住率は**20.1%**に上る。

就労内容・イベント内容

【業種】
観光業、宿泊業、サービス業、マリンレジャー事業、幼稚園・保育園、介護福祉業、農業、水産業、飲食業、まちづくり事業

【仕事内容】
保育士、看護師、介護士、保健師、マルシェ販売補助、グラスアート体験補助、果物・野菜等収穫、海ぶどう養殖、島らっきょう栽培、食堂、シーカヤックやSUP体験補助、スキューバダイビング体験補助、ホテルフロント業務・清掃業務、行政事務、フェリー船員など



参加者の声

〇地域の方々が本当にいい人ばかりですぐに馴染めた。また、皆さん声をかけてくれて沢山お話をしたので、人見知りだった自分も帰る時には人に話しかけるのが怖くなくなった。自分を引き出してくれる人が沢山いたので今までとは違う明るい自分になれた。(20代・女性)

〇都会では体験できない生活、交流がある。仕事終わりにビーチに行ってぼーっとするだけでも気持ちが晴れたり、のんびりサイクリングしたりと自分だけの時間、ペースで過ごせる。(20代・女性)

〇暖かくて住みやすく、食べ物豊富で、特に熱帯果樹が買える。無添加且つ超おいしいチョコレートを作る現場体験ができる。(40代・女性)

〇短期間だったが、スタッフたちの年齢も近かったため全体的に皆仲良くなり、美容師をしている方だったので散髪してくれてスタッフたちも喜んでいた。(事業者)



